

県立高等学校みらいのあり方検討委員会  
協議の概要

令和3年5月

(三重県)県立高等学校みらいのあり方検討委員会

## 目次

1. はじめに	1
2. 協議の流れと検討テーマの設定	2
3. 協議の概要	3
(1)新たな時代に対応した高等学校教育の推進	3
(2)全ての高校生を誰一人取り残さない教育環境づくり	7
(3)これからの学びに対応した学科・課程のあり方	12
(4)これからの社会の変化と県立高等学校の学びに対応した社会性・人間性の育成	15
(5)県立高等学校の規模と配置	18

### <参考資料>

- (1)協議経過
- (2)設置要綱
- (3)委員名簿

### <県立高等学校生徒を対象としたアンケート結果報告>

## 1. はじめに

本県においては、平成 29 年3月に「県立高等学校活性化計画」(以下、「計画」という。)が策定され、生徒一人ひとりに応じた多様な教育や地域で学び地域を活かす教育が推進されてきた。また、令和2年3月には、本県の教育振興基本計画である「三重県教育ビジョン 子どもたちが豊かな未来を創っていくために」が策定され、これからの教育施策の三つの柱として、「誰一人取り残さない教育の推進」「子どもたちの豊かな未来を創っていく力の育成」「オール三重による教育の推進」が示された。

現行計画は令和3年度末に計画期間が終了することから、高校教育を取り巻く環境の変化に的確に対応し、三重県教育ビジョンに込めた想いを実現するとともに、今後の県立高等学校が、子どもたち一人ひとりが自己肯定感を高め、新たな時代に対応していく力を育むための場となるよう、次期計画が策定され、県において具体的施策を進めていく必要がある。

こうした中、次期計画の策定に向けて、学校や PTA、教育委員会などの学校関係者だけではなく、地域産業界や教育・文化等の分野、県立高校 OB など、様々なバックボーンや経験を持つ委員が、既存の高校教育の枠にとらわれない幅広で多様な観点・角度から調査し考察していくことを目的とする、県立高等学校みらいのあり方検討委員会(以下、「委員会」という。)が設置された。

本委員会では、学校の主体者である子どもたちの視点を大切に、高校生へのアンケート調査も実施しながら、全7回にわたって検討を重ねた。本委員会で協議してきたことは、これまでも重ねて議論されてきたことであり、今後は学校外の力も活用しながら、それを学校現場で具体化していくための必要な措置を講ずることが非常に大切となる。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ICT を活用した遠隔・オンライン教育が進んだ状況や、国の動向にも留意しつつ、本県の状況に応じた活性化についても考えていく必要がある。

この協議の概要には、中長期的に検討すべき内容の意見もあれば、早急に実施に移すことが望ましい内容の意見もある。また、対立する意見もそのまま記載し、今後の検討に委ねた部分もある。

については、この協議の概要をもとに、三重県教育改革推進会議においてさらに審議を深め、子どもたちの視点に立った未来の三重の高校づくりを目指して、本県における県立高等学校活性化の次期計画が策定されることを期待する。

## 2. 協議の流れと検討テーマの設定

本委員会では、まず、急速な技術革新や人口減少・少子化の進展といった高校教育を取り巻く社会情勢の変化を確認した上で、これからの時代を生きる子どもたちに必要な学びや、そのために高等学校はどうあるべきかという大きな視点から協議を行い、以降の本委員会で特に幅広く検討するテーマを設定した。

### 【第1回委員会における意見の概要】

- 自ら物事を考えて課題を解決する方法を体験的に学ぶことが必要
- 実際の経験を積むことを重視し、失敗しても何度でもチャレンジできるようにする
- 多様な他者と関わり、様々な生き方を学ぶことが必要
- 学ぶ楽しみや生きる喜びを感じられるようにする
- 多文化共生の教育や外国人生徒への学習支援をする
- 教員はこれまでの指導方法等にこだわらず、一人ひとりの生徒の状況に応じた学びを工夫して実現することが必要
- グループワークやディスカッションで、生徒が建設的に議論できるよう導ける教員の養成が必要
- 学校は、一人ひとりが様々な面で誰からも肯定され、自身を肯定する力が自分でも他者からも育てられる場であるべき
- 生徒が高等学校を選択しやすいよう、各学校で目指すところを明確にする

### 【検討テーマ】

- ・ 新たな時代に対応した高等学校教育の推進
- ・ 全ての高校生を誰一人取り残さない教育環境づくり
- ・ これからの学びに対応した学科・課程のあり方
- ・ これからの社会の変化と県立高等学校の学びに対応した社会性・人間性の育成
- ・ 県立高等学校の規模と配置

### 3. 協議の概要

#### (1) 新たな時代に対応した高等学校教育の推進

＜実社会とつながった学びの推進について＞

実社会とつながった学びを推進するにあたり、どのような取組や視点が必要であるかについて協議した。

##### 【概要】

本テーマでは、主に以下のような意見が出された。

- 全ての高校で、インターンや探究活動による企業等との連携、県外地域の先進的な取組を行っている高校との連携などを進めていけるとよい
- 子どもたちにとって、社会の一員として活躍していることを実感できる場や経験が重要であるため、アルバイトを推奨することも考えられるが、一方で、部活動への影響等による学校の活力の喪失が懸念される
- 教職員は、生徒に実社会での学びと学校での学びのつながりを実感させる指導力や学校と外部とをコーディネートする調整力、自らも学び続ける意欲が必要
- これからの時代に必要な学びを実現していくためには、働き方改革を通して教職員の勤務環境や意識を変えていくことが必要
- 生徒は自ら企画を立案し、外部とアポイントメントを取るなど、自分達の学ぶ場を自分たちで作っていくことが望ましい
- 教育関係者は、高校生は「小さな大人」であり、「大きな子ども」のままにしておかないという意識を持って、生徒を主語にした学校づくりを心がけることが大切

- 四日市工業高校ものづくり創造専攻科では、教育活動を支援する事業所などを「協働パートナーズ」として募集し、事業所等現場実習や工場見学を行っている。こうした取組は、企業側と学校側の双方に win-win の取組であるため、企業に取組のメリットを伝えられるとより広がっていくだろう。
- 専門学科高校にとどまらず、全ての高校で企業等と連携した探究活動を進めていけるとよい。
- 近畿北陸のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の学校連携のように、県外地域の先進的な取組を行っている高校と関わることで、自校の取組のよさや課題、三重県の特色などに気づくことができる。
- インターンに行った企業の情報を生徒がPRするなどのアウトプットに取り組むことで、生徒はより主体的に地域社会を学び、企業側にもメリットが生まれるのではないかと。

- デュアルシステムや地域課題解決型学習などの活動を通して、生徒が保護者や教職員以外の大人と接し交わることで、自分に何が足りないのかを自覚すると、学習のモチベーションが上がる。
- 子どもたちにとって、社会の一員として活躍していることを実感できる場や経験が重要である。学校外での社会との関わりを充実させるため、アルバイトを推奨してもよいのではないか。
- アルバイトについてはよい面もある一方で、部活動の参加生徒数や活動時間が少なくなること等による学校の活力の喪失が懸念される。
- 外部の講師を招いたり、施設へ行って学んだりする経験が自らの学習にとってどのような意味を持つのか、どのような位置づけとなるのかを生徒自身に実感させる力、外部とコーディネートする力が教員には必要である。一方では、教員の日常業務の負担は大きいいため、働き方改革を通して教員一人ひとりの授業時間を短くしていくことが必要である。
- これからは大人も学び続けることが必要な時代であり、教員は生徒に教えようとする姿勢ばかりではなく、生徒と対等な関係で共に学ぶ、というマインドで取り組むことも必要だろう。また、生徒は教員に代わって企画やアポイントメントを取るなど、自分たちの学ぶ場を自分達で作っていくことが望ましい。
- これからの時代に必要な学びを実現していくためには、働き方改革を通して授業時間を大胆に削減するとともに、教員自身が、企業やNPOなど外部の力を活用して、地域全体で子どもたちを支えていくという考え方や感覚を持てるよう、意識を変えていく必要がある。
- 高校生は「小さな大人」であり「大きな子ども」のままにしておかないという意識を持って、生徒を主語にした学校づくりを心がけることが大切である。
- 教育施策を検討する際に、客観的に数値化できる定量的なエビデンスに基づくことは大切だが、定性的なものを感覚的にではなく、納得感ある形で評価する方法についても考えていく必要がある。

＜個別最適な学びの推進について＞

個別最適な学びを推進していくにあたり、どのような取組や視点が必要であるかについて協議した。

【概要】

本テーマでは、主に以下のような意見が出された。

- 中学校の段階から、自分の興味・関心に基づいて能動的に学ぶ楽しさを体験することが必要
- 生徒の興味と学ぶ目的をつなげていくことで、生徒が自ら学習を進めていけるように導くことが教員には求められる
- 教員が生徒に教えるだけでなく、生徒同士で教え合うという仕組みを取り入れることで、生徒にとっては学びの定着が図られるとともに、教員の生徒理解も促進される
- 学校においては、子ども一人ひとりを主語にしながらかリキュラムを柔軟にすることで多様な学び方を可能にし、そこに軸を通していくことが求められる

- 教員のガイドや励ましを必要としたり、与えられるのを待っていたりする生徒は、自主的に学習を進めていける生徒とは異なり、自らの興味・関心に基づいて探究的な学習を進めていくことは難しい。中学校の段階から、自分の興味・関心にしがたって能動的に学ぶ楽しさを体験することが必要である。
- 生徒は、興味のあることや、目的に合うことであれば自ら学習を進めていくことができるので、教員には、生徒が目標や目的を持てるよう導くことが求められる。
- AI技術が進んで生徒にあった個別の学習ができるようになってきたが、それだけでは不十分である。今取り組んでいる学習はどのような意味を持つのか、次に進むためにはどのような目標を持って学習を進めることが必要かといったことは、教員が生徒との対話を通じてサポートし、コーディネートしていくことが必要である。
- 生徒自身が楽しく感じることを大切に、それを学ぶ目的とつなげていくことで、生徒は自走して学び始める。
- 教員の業務を生徒にもアウトソースし、生徒が生徒に教え合うという仕組みを取り入れることで、双方においても学びの定着が図られる。
- 目の前の学習と未来をいかにつなげて見せていけるかといった力量が、コーディネーターである教員には一層求められる。
- 個別最適な学びとはICTなどの技術の活用方法を学ぶことではない。自分で学び、考え、意思決定をしていくことのできる力を身に付ける道筋は一人ひとり異なるため、どのコースをたどってもいいので、最終的には自立した学習者として、自分自身で人

生を切り拓いていけるようにすることが大切である。学校においては、子ども一人ひとりを主語にしながらカリキュラムを柔軟にすることで多様な学び方を可能にし、そこに軸を通していくことが求められる。



## (2)全ての高校生を誰一人取り残さない教育環境づくり

＜外国人生徒への支援について＞

外国人生徒が社会の一員として自立するための力を育んでいくため、県立高等学校において必要となる視点や取組の方向性、学びのあり方について協議した。

### 【概要】

本テーマでは、主に以下のような意見が出された。

- 日本語での概念理解が難しい教科などは母語で開講するとともに、オンラインで受講できるようにするなどして、母語での単位修得を広げていってはどうか
- 将来、日本で大学進学や就職を目指すのであれば、社会に出るまでに日本語を習得できるように徹底するべき
- 生徒が学校を休んでしまう背景について分析し、授業に出席できるよう、教職員や学校でサポートしていける体制があるとよい
- あるアメリカのコミュニティ・カレッジでは、生徒が集まって得意分野を互いに教えあえる「ラボ」という場が校内にある。こうした例を参考に、日本人と外国人が共に学び、教え、サポートし合えるような仕組みや場所を作り、誰でも好きなときに行けるようにするとよい
- 外国人生徒を対象とした入試枠がある高校は少なく、進学の実選択肢が定時制高校のみになってしまう状況があるため、こうした入試枠を各地域で増やすことが必要
- 単位修得や修業年限などについて、生徒の状況に合わせた柔軟な制度としていくことが必要
- オンライン等を使ってどこの地域・学校でも同じような支援を受けられる環境の整備や、生徒の相談に対応できる支援員を確保していくなど福祉的な視点も含めたサービスを充実していくことが必要

- 外国人生徒にとって日本語での概念理解が難しい教科などは母語で開講するとともに、その授業を他校でもオンラインで受講できるようにするなどして、母語での単位修得を広げていってはどうか。
- 将来的に日本で大学進学や就職を目指すのであれば、社会に出るまでに日本語を習得できるように徹底するべきである。
- 日本語能力試験など進路につながる資格等の習得については、各々の教員や学校単位で対応するのではなく、全ての学校で受けられる仕組みにするとよい。
- 外国人生徒が、サポートしてくれる友達や教員に受け入れられている、という実感が持てるよう、多文化共生の教育を進めていくことが重要である。また、生徒がなぜ学

校を休んでしまうのかなど、その背景について理解できるように教員の資質・能力を高めていくための研修等を行っていくことも必要である。

- あるアメリカのコミュニティ・カレッジでは、生徒が集まって得意分野を互いに教えあえる「ラボ」という場が校内にあり、課題の添削などをしてもらえる。こうした例を参考に、日本人と外国人が共に学び合い、教え合い、サポートし合えるような仕組みや場所を作り、誰でも好きなきに行けるようにするとよい。また、普段の試験等についても、振るい落とすのではなく、最終的なクリアを目指して何度でも挑戦できるようにするとともに、TA(ティーチング・アシスタント)がその頑張りを支援する、といった仕組みがあることが望ましい。
- 外国人生徒が、定時制だけでなく全日制の高校においても授業についていけるように支援体制を整え、日本人生徒と同様の選択肢を確保していくべきである。
- 外国人生徒を対象とした入試特別枠を設けている高校は県立高校の半分に満たず、近くの高校に特別枠入試がないことから、進学の際の選択肢が定時制高校しかなくなってしまうという状況がある。

多様な背景を持つ子どもたちを対象とした入試枠を各地域で増やすとともに、高校に入学してから日本語を学べる環境を整えることが必要である。そうした教育に精通した教員がいない学校においては遠隔で授業を受けられるようにするなど、どの地域・学校でも同じような支援を受けられる体制ができるとよい。
- 定時制以外の課程においても、3年間での卒業にこだわらず生徒の実態に合わせた柔軟な単位の履修・修得が可能になるとよい。
- 単位認定や修業年数を弾力的にしていくためには、他の生徒と一緒に学べる科目とそうでない科目を分けるなど、生徒に合わせた取捨選択ができるよう、カリキュラムの見直しが必要となる。県教育委員会で柔軟なカリキュラムを示すとともに、拠点校を中心にオンライン等を使って子どもたちが学びやすい環境の整備を行うべきである。
- 子どもたちからの相談に対応できる外国人生徒支援員を確保・充実していく必要がある。
- 今後、地域の県立高校には、様々な背景を持った子どもたちの生活を支える福祉的サービスも含めたワンストップでのサービスを提供していく役割も求められるのではないか。
- 生徒がなぜその授業に出席していないのかを分析し、どうすれば出席できるかを教員や学校がサポートできる体制があるとよい。授業への出席を必ずしも求めない、生徒の学習の状況に合わせた柔軟な支援制度も考えるべきである。

- 今後の支援の方向性を考える上でのエビデンスとするため、学校毎の支援状況や中途退学者数、退学に至った理由などを調査・検証してはどうか。

### <不登校生徒への支援について>

不登校生徒が自身と社会とのつながりを途切れさせることなく、社会性や自立心を育み、安心して学んでいくために必要となる視点や取組の方向性、それらをふまえた高等学校のあり方について協議した。

#### 【概要】

本テーマでは、主に以下のような意見が出された。

- 生徒一人ひとりが多様な価値観を認められることで、自分はここに居てもよいと感じられるようにすることが大切
- 様々な背景の子どもたちに対応できるよう、授業への出席や他校への転学のしやすさ等について、フレキシブルな仕組みを考えていくことが重要
- 不登校や退学によって将来の選択肢が狭まらない仕組みを整備することが必要
- 転入学・進級時の不適応を減らし、そう感じた時に対応できるよう、柔軟に進路変更ができる仕組みなどについて、生徒や保護者に伝えていくことが必要

- 価値観の多様化が不登校の大きな要因のように感じる。生徒一人ひとりが多様な価値観を認められることで、自分はここに居てもよいと感じられるようにすることが大切である。
- 不登校の子どもの保護者に対する精神的ケアが必要である。
- 現在、生徒一人ひとりの生き方に応じた学びの選択肢は幅広くなってきており、不登校に対するネガティブな認識も緩和されつつある。次は、不登校の子どもがエネルギーを貯めて頑張れるようになったときにリスタートしやすい環境や体制を整えることが大切である。
- 不登校や退学も人生における前向きな選択と捉えるならば、そのことによって将来の選択肢が狭まったり、不利になつたりしないような仕組みを設けておくことが必要である。
- 調子が悪いときは休み、調子がよいときは学校へ通って普通の高校生活をしたいと思う生徒は多く、時々であっても学校で過ごすことが社会的自立につながると考えられるため、県立高校でも様々な背景を持った子どもたちのニーズに対応できるフレキシブルな学びの体制を考えていくことが重要である。  
また、転学について、年度途中でも受け入れるなど柔軟な仕組みが求められる。
- 海外では、朝は元気がないタイプの子でも登校しやすいように午後の部を設けている学校もある。日本では朝から始まる学校がほとんどで、そういった子どもたちに十分対応できているとは言えない。様々な背景を持った子どもたちに、よりしっかりと対応できるフレキシブルな学校があるとよい。

- 高校入学後であっても進路変更が柔軟にできることや、高校を卒業していなくても大学へ入学できる仕組みがあることを、生徒や保護者が知っていなければ使えない。転入学・進級時の不適應に対し、柔軟な進路変更ができるよう、中学校段階の進路指導で仕組みをしっかりと伝えていくことが必要である。

### (3)これからの学びに対応した学科・課程のあり方

これからの時代に必要とされる人材を育成するとともに、多様な生徒の可能性及び能力を最大限に伸ばしていくために、本県の学科・課程における学びの内容や方法をどうしていくべきかについて協議した。

#### 【概要】

本テーマでは、主に以下のような意見が出された。

- 新たな学科や学校を考える際は、そこで育てたい生徒の姿などが生徒や保護者、地域に理解され、学校の特色として続いていけるよう、教職員を中心に、地域や中高生も含めて議論していくことが大切
- 普通科においては、必要に応じて様々な特色ある学科・コースを新たに考えていくべきだろう
- これからの専門学科においては、状況に応じて必要な学びを柔軟にとり入れたり、複数の学科を統合することなどにより、専門性は確保しつつ、分野横断的な学びについても考えていくべきではないか
- 専門学科の学びにおいては、基本を確実に身につけ、これからの技術の進歩に対応するとともに、応用していける考え方を学ぶことが必要
- 望ましい学びの実現には一定の学校規模が必要であることをふまえると、普通科等を統合し、学びの多様性がある子どもたちのニーズに応じていきやすい総合学科を拡充していくとよいのではないか
- 定時制と通信制を組み合わせた通信サテライト校を整備するなど、定時制と通信制が連携したフレキシブルな仕組みを作っていくべき
- ICTを活用して他校の授業を受けられる環境の整備や、授業手法や指導実績を学校間で共有する仕組み、地域の大人や大学・企業が高校教育に参画する仕組みをつくっていくことが必要だろう
- 教員を育成する体制づくりがより進むよう、必要に応じて同一校での勤務年数を長期化したり、子どもたちにより良い学びを提供するため、教員の意欲や経験、能力をふまえた配置とするなど、教員の人事についても考えていく必要があるだろう
- 他県の特色ある事例を安易に目指すのではなく、三重県の現状をしっかりと認識した上で、どのような高校教育を実現していくかについて議論すべき

- 全ての高校において、どのような学びや授業を提供し、どのような文化を根付かせるかといったことを考えていくことが重要である。
- 新たな学科や学校の具体的な形を考える際は、その高校でどのような生徒を育てたいのかといったことが生徒や保護者、地域の方々に理解されるとともに、それが学校の特色として続いていけるようにすることが必要である。そのためには、情熱を持つ

た教職員を中心に、地域の方々や中学生・高校生も含め、自分たちが行きたい・学びたい高校はどうあるべきかについて議論していくことが大切である。

- 中央教育審議会答申にもあるように、普通科においては、様々な特色のある新たな学科・コースを考えていくことも必要ではないか。
- これからは生涯を通じてひとつのジャンルにとどまることなく、ジャンル横断的に学び続けていくことが必要な時代であり、学校で身に付けた技術や資格だけでは生きていけない。また、企業としても、高校で何を学んできたのか以上に、人柄や熱意、入社後も学び続けながら10年後も会社で頑張ってくれる人材であるかどうかといった将来的なポテンシャルを重視した採用が行われるだろう。こうしたことをふまえると、これからの専門学科においては、過度に専門性を追究することよりも、幅広い分野を横断的に学べるプログラムを考えていくべきではないか。
- これからの農業科や工業科は、農作物・製品を作るだけでなく、それらの流通・販売のプロセスについても学ぶことが求められる中で、農業・工業・商業の各学科の固有性は担保しながらも、これらを一体的に学べる学校が必要ではないか。こうした農・工・商業学科の一体化・相互乗り入れの学びの形態は、専門学科の小規模化の解決にも有効なアプローチとなる。
- 専門学科での学びに必要なことは、最新の技術や設備をいかに導入するかよりも、基本を身に付け、技術の進歩に対応・応用していける考え方を学ぶことである。
- 望ましい学びの実現には一定の学校規模が必要であることをふまえると、普通科等を統合し、学びの多様性がある子どもたちのニーズに応えやすい総合学科を拡充していくことがよいのではないか。その際には、幅広い生徒のニーズをふまえたコースを設定するとともに、教職員の手厚い配置や、ICTを活用して他校の授業を受けることができるようにするなどの対策が必要だろう。
- 総合学科の学校を増やしたり、商業高校の中に普通科コースを作ったりするなど、在学中に学べるジャンルを広げることで多様なニーズを満たしていけるだろう。
- 総合学科の授業の実施方法等が普通科と同じものになってしまうために、教員が互いに学びあって総合学科の授業の質を高めていく必要がある。現状、多忙な教員が教育を変えていくにあたってのボトルネックである働き方改革を実現し、選択と集中をすることで高校改革の実行力を高めていくことが重要である。
- 通信制・定時制を再編するとともに、通信制の生徒が必要に応じて通学して学ぶことができるサテライト教室を定時制高校に設けるなど、通信制と定時制の協力体制を作ることにより、生徒をフレキシブルに受け入れられる仕組みづくりが必要ではないか。さらに、地域のNPO等との連携も視野に入れる必要がある。

- 新たな学科という視点では、例えば、起業を推進するビジネス創造、SDGsを中心に学ぶSDGs未来型、地方創生コース、外国語学科などが考えられる。  
 こうした新しい学科を設置した学校がオンライン等で他校の生徒にも特色ある授業を開放し、単位修得を認めていくとともに、蓄積された授業のノウハウや経験を学校間で共有する仕組みが必要だろう。
- 高校においては、将来のイメージを持たないまま入学してくる子どもたちも一定数いるため、入学後に様々な経験をし、将来を考え、進路を決めていけるキャリア教育を重視した学科が必要である。
- 教員を育成する体制づくりがより進むよう、必要に応じてその学校に勤務する年限を長期化したり、子どもたちにより良い学びを提供するため、教員の意欲や経験、専門的な知識やスキルをふまえた配置とするなど、教員の人事についても考えていく必要があるのではないか。
- 少子化が進む中で、高校の統廃合は避けられないと考えるが、多様な学びを提供していく手段として、例えば、使われなくなった教室を地元の企業等に安く貸し出すとともに、その企業に授業に関わってもらおうといった地域複合型の学校運営も考えられる。
- 大学受験浪人生や社会人が、受験勉強や学び直しのために高校の授業を活用できるようにするなどの柔軟な制度設計をすれば、一定の生徒数を確保することにもつながるとともに、現役の高校生にとっても他の世代と関わることができるため、有益ではないか。
- 少子化は生徒一人あたりを支える大人の人数が増えると捉えれば、質の高い教育に転換するチャンスともなり得る。地域の大人や大学・企業が本格的に高校教育に参画する仕組みを持った学科・学校を実現することにより、高校が社会人のリカレント教育の場にもなり得るのではないか。
- 中央教育審議会答申では、各高校の存在意義や社会において期待される役割など目指すべき学校像を明確化する形でスクール・ミッションを再定義すること、また、スクール・ミッションに基づいて入学から卒業までの教育活動の指針となるスクール・ポリシーを策定することとしている。今後、全国的にこういった流れになってくるということを理解しておく必要がある。
- 全国の特徴ある学科や教育課程の事例については、各校それぞれの状況があつてこのような形になっている。そうした結果の形のみを見て三重県もここを目指していこうと考えるのではなく、三重県の現状をしっかりと分析した上で、どのような高校教育を進めていくかという議論が必要である。



#### (4)これからの社会の変化と県立高等学校の学びに対応した社会性・人間性の育成

選挙権年齢や成年年齢の引き下げといった制度改革、少子化による学校の小規模化、新型コロナウイルス感染症の影響等により、高等学校と生徒を取り巻く状況は大きく変化してきており、学校生活のあり方もこれまでどおりではなくなりつつある中、学校生活を通して生徒に社会性・人間性を育てていくために、今後どのようなことが必要と考えられるかについて協議した。

また、高校生へのアンケート調査の結果をもとに、読書や学校図書室の利用促進についても協議した。

##### 【概要】

本テーマでは、主に以下のような意見が出された。

- 教員は、授業の中で育てたい生徒の姿を実現していくために、知識を教え込むだけではない授業のあり方を考えていくことが必要
- 外部の大人に教えてもらうことなど外部人材を活用することは生徒にとって新しい刺激になると同時に、教員の多忙化を解消する手段にもなる
- 生徒の主体性を育むための仕組みを整備し、教員は生徒に「べき」論を押し付けるのではなく、生徒に任せられるようになることが必要
- 理想の学校のあり方や当たり前になっている学校のルールを見直すことについて、対話する場を設けるとよい
- 小規模化が進む中、学校の垣根を越えて授業や部活動を行える仕組みを構築したり、生徒会同士の連携を進めるなど、より広いつながりの中で、生徒の学びや学校生活を保障していけるとよい
- SNS等での情報の真偽を判断する力を、情報教育などと一緒に進めていくことが必要
- 授業や課題の中に読書を取り入れるなどして、本を読むための時間を確保するとともに、生徒に読書の楽しさや有用性などを体験できるようにすることが大切

- 授業には全ての生徒が参加するため、社会性・人間性を育む大きな機会となっており、授業のあり方が大切となる。今後、教員は、授業の中で育てたい生徒の姿を実現していくために、知識を教え込むだけでなく対面授業のあり方を考えていく必要がある。また、教員がこうした授業を工夫する時間的余裕を確保することも必要である。
- 外部の大人に教えてもらうことは生徒にとって新しい刺激になると同時に、教員の多忙化を解消する手段にもなる。
- 自分の頭で考えてトライアンドエラーを繰り返さなければ、社会性や人間性、その人らしい生き方は育まれない。しかしながら、現在の高校は、長年の慣習の中で生徒に

任せることができない状況になっている場合が多い。こうした状況を変えていくことに取り組むべきである。

- 学校の様々な場面で、教員が「～すべき」で話しすぎているように感じる。生徒一人ひとりの生きる目的、目指すところは違う中で、それぞれすべきことは異なっているのだから、「べき」論は必要最小限にとどめ、生徒の自主性を重んじることが社会性・人間性を育むことにつながる。そのことを、生徒との関わりの多い教員が心得ることが必要だ。
- オンライン授業が進めば進むほど、社会性を高める点において、対面の授業の中で教員が生徒と対話したり、生徒同士で意見を交わしたりすることの重要性が高まる。
- 生徒の社会性を高めるにあたっては、外部との関わりをうまく取り入れることが必要である。また、理想の学校のあり方や当たり前になっている学校のルールを見直すことについて、対話する場を設けるとよい。
- 規則やルールが厳しい学校もあるが、それが社会性・人間性を育むことを妨げているとは必ずしも言えないのではないか。普段の授業をどのようなものとするか、休憩時間等での生徒同士の関わりといった部分が重要だろう。
- 生徒会と教員が対等に対話できるようにしたり、複数の生徒会同士のつながりを強めたりするような取組ができるとよい。
- SNSでの自分たちの発言の重さや責任を認識できるようにすることが必要である。
- 部活動は社会性・人間性の育成に有効であるが、学校の規模が小さくなり、希望する部活がない学校が多いと思われる。学校単位ではなく、もっと広い単位で集まって部活ができるように変えていけるとよい。
- 生徒が主体的に学校を作っていく仕組みを整備するとよい。
- 小規模化が進む中、複数の学校で1人の教員の授業を共有できるような仕組みを構築していく必要があると思われる。また、情報の真偽を判断する力を、情報教育と一緒に進めていくとよいのではないか。
- 生徒が自主的に本を読む時間を割くことは難しいため、授業の中で読書の時間を確保すべきだろう。また、どんな本を読めばいいかわからない生徒に、興味・関心に応じた本を薦めたり、本の選び方を教えてくれたりする本のソムリエのような人がいるとよい。
- まずは手軽に見られる動画で情報の概要を知り、興味を持てば本で情報量や質を高めるように導くとよい。

- 読書習慣のない高校生に本を読むように促しても難しいため、授業や課題に読書を取り入れるなど、全校的な取組として読書のための時間を確保する必要がある。その実現には、司書だけではなく、教科担任の役割が非常に大きいものとなる。
- 読みやすいように電子書籍などを活用し、本を読む楽しさや有益性を体験できるようにすることが重要。また、外国籍の生徒が日本語を学習する際に漫画も取り入れられるとよい。
- 教室の中に図書委員が選んだ本を置く、小さな図書館をつくるなど、本と気軽に触れ合う機会をつくる必要がある。

## (5) 県立高等学校の規模と配置

今後の少子化の進行や県立高等学校の現状、子どもたちの進学希望の状況をふまえ、社会性の育成、ニーズに応じた幅広い教科・科目の開設、学校行事や部活動の充実等を保障していくことのできる高等学校の規模について協議した。

また、1学年4学級規模となった専門学科高校では学科の多様性や専門性を維持することが困難となったり、一部の高等学校では集団での部活動が困難となったりするなど、全県的に県立高等学校の小規模化が進む中で、これらの学校の今後のあり方を検討していく上で、どのような方向性が考えられるかについて協議した。

### 【概要】

本テーマでは、主に以下のような意見が出された。

- 小規模校は個別最適な学びを実現しやすいが、一方で、同年代の多様な人間関係の中で社会性を育てていくという点などは担保しにくい
- 高校の志願状況を踏まえると、地域の子どもを同一地域の学校に進学させようとするのは、地域の子どもや保護者の教育要求に必ずしも適合していないと考えられるため、施策の方向性を変えていくべきではないか。一方で、都市部の学校にあっては、その周辺地域も自分たちの地域であるという観点で、都市部から周辺地域の活性化に貢献していくことも検討すべきではないか
- 子どもたちの進学希望を実現できるコースが地域の学校にあるとよい
- 小規模校においては、子どもたちのニーズに沿った多様な学びや高校生活を提供していけるよう、これまでの取組を検証した上で、存続か統合かを考える時期に来ているのではないか
- 小規模校を活性化していくためには、限られた財政的・人的リソースをどのように確保していくかが重要であり、都市部の大規模校の定員数を減らして、その分を小規模校に配分していくことも考えられるのではないか
- 今後、一つひとつの学校がさらに小規模化していく中で、複数の学科を併設することのよさを考えると、専門学科の統合を考えていく時期に来ているのではないか
- 高校に通えない地域が出ないようにしていくことが統合にあたっての前提であり、併せて、生徒の過度な通学負担等をサポートする方策を考えていく必要がある
- 既存の学校の枠にとらわれない、新しい形の学校についても検討する必要がある

- 教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすい小規模校の方が、よりよい教育ができるのではないか。小規模校を維持するために財政的な視点も含めてどうしていくかを考えて行く必要がある。また、その地域でしか学べないことを特色として、例えば、都市部の高校の生徒が地域留学できるようにするなど、三重県の多様性を生かしたやり方があるのではないか。

- 小規模校は多様性に乏しく、社会性を育みにくいといった課題は、外部の人との関わりや、オンラインを活用することなどで克服できるだろう。また、都市部の大規模校の定員数を減らして、その分を小規模校に配分していくことも考えられるのではないかな。
- 小規模校だから個別最適な学びを実現していきやすいが、多様な生徒に対応していくためには労力が必要となる。小規模校を活性化していくためには、限られた財政的・人的リソースではあるが小規模校に配分していくことが重要である。
- 同年代の多様な人間関係の中で高校生活を送ることで社会性が身についていくという点や、友達づくり等で失敗した場合のリカバリーのしやすさといった点については小規模校では担保しにくい。なお、地域密着や専門性に特化しすぎると、逆に閉鎖的・排他的な印象を与えてしまう側面があるため、手厚いケアが受けられる普通科という形の方が子どもたちは魅力を感じるのではないかな。
- 例えば 40 人規模の学級を 20 人ずつの2学級に分けて細かく丁寧な指導をしているかとなると、教員数も限られている中で実現していけるのか疑問である。
- 都市部の学校にあっては、その周辺地域も自分たちの地域であるという観点で、都市部から周辺部の地域の活性化に貢献していくという方向性も検討すべきではないかな。また、探究を深めていくためには、生徒の興味・関心に応じた学びを導ける専門性のある教員が一定数必要となることから、ある程度の規模は必要ではないかな。
- 小規模校においては、平成 29 年度から学校別の協議会を設置して地域の協力を得ながら活性化に取り組んできたものの、志願者数の増加にはつながっていないということは、そうした取組が必ずしも中学生や保護者のニーズに合致していないということなのではないかな。これまでの取組の検証を行い、欠員が生じている理由、中学生や保護者のニーズをもう少し深掘りした上で、活性化の取組を継続していくのか、統合へ向けて舵を切るのかを考える時期に来ているのではないかな。
- 地域の子どもは、自宅に近い地域の小規模校より、多くの生徒が集まる地域外の一定規模のある学校を選ぶことが多い。また、保護者は、昔のイメージがよくない学校であれば、自分の子どもの進学先としてその学校を選ばない傾向も強いことから、地域の子どもを同一地域内の高校に進学させようとする施策の方向性は、変えていくべきではないかな。
- 一度ネガティブなスパイラルに入り込んでしまうと、学校の魅力を向上させて再び子どもたちを呼び込めるようにするには、困難を伴い大きなパワーが必要となる。
- 尾鷲高校のプログレッシブコースのように、大学進学を目指して地域外の高校へ通っている子どもたちのニーズに応えるコースが、地域の学校にあるとよい。

- スチューデントファーストという視点で必要な学びを提供していけるのかを考えたとき、通学範囲も考えた上で、統合してまとめていく時期にきているのではないか。
- 複数の学校・学科を一つの高校として統合することが子どもたちのニーズに合ったものになるのであれば、そうした方向も検討していく必要がある。その際は、これまで地域の高校が行ってきた地域と密着したキャリア教育などの取組を、今後は都市部の高校も関わり取り組んでいくことで、地域の高校がこれまで積み上げてきた成果を継承しつつスチューデントファーストの視点に立った高校の統合を実現していくことができるのではないか。
- 子どもを地域に縛りつけるというのではなく、子どもたちが自らのニーズに応じて選択した高校で多様な学びや高校生活が得られるよう、ある程度小さくなってきた学校は統合する一方で、生徒の過度な通学負担等をサポートする方策を考えていくべきではないか。
- 伊賀白鳳高校では複数の専門学科を統合したことで、入学後にどのコースを選ぶか決めることができ、生徒の希望に沿いやすい仕組みとなっている。また、一定の学校規模の中で生徒がそれぞれの学科において目指す職業的な学びをしっかりとできおり、地元への就職率も高い。  
今後、一つひとつの学校がさらに小規模化していく中で、複数の学科を併設することのよさを考えると、専門学科の統合を考えていく時期に来ているのではないか。
- 県立高校には地域の子どもの受け皿としての役目があり、就職を目指している子どもは、通学に係る経済的負担が小さい近くの学校を選ぶことも多いので、高校を統合するとしても各地域に県立高校は必要である。
- これから新しい学校について考えていくにあたっては、広域通信制や学び直しができる学校(エンパワメントスクール)、不登校生徒や日本語の指導を受けたい生徒などのニーズにフレキシブルに対応できる学校、ICTを活用して場所に縛られずに学ぶことができる仕組みの学校など、既存の学校の枠にとらわれない画期的な新機軸を持った学校についても考えていくべきだろう。

## 參考資料

- 協議經過
- 設置要綱
- 委員名簿

県立高等学校みらいのあり方検討委員会の協議経過

開催時期	場所	協議内容
第1回 (令和2年10月13日)	三重県庁 (オンライン会議)	○新たな時代における本県の高校教育のあり方について
第2回 (12月1日)	三重県総合教育センター (オンライン会議)	○県立高等学校の課題と協議テーマ ○新たな時代に対応した高等学校教育の推進①
第3回 (令和3年1月5日)	三重県総合教育センター (オンライン会議)	○新たな時代に対応した高等学校教育の推進② ○全ての高校生を誰一人取り残さない教育環境づくり
第4回 (2月4日)	三重県総合教育センター (オンライン会議)	○これからの学びに対応した学科・課程のあり方
第5回 (3月15日)	三重県総合教育センター (オンライン会議)	○これからの社会の変化と県立高等学校の学びに対応した社会性・人間性の育成 ○県立高等学校の規模と配置①
第6回 (3月26日)	三重県庁 (オンライン会議)	○県立高等学校の規模と配置②
第7回 (4月26日)	三重県庁 (オンライン会議)	○協議のまとめ



## 県立高等学校みらいのあり方検討委員会設置要綱

### (目的及び設置)

第1条 三重県におけるこれからの高校教育のあり方について、幅広く多様な観点・角度から議論することを目的として、「県立高等学校みらいのあり方検討委員会」(以下、「委員会」という。)を設置する。

### (検討事項)

第2条 委員会は次の事項を検討する。

- (1)これからの時代を生きていく高校生に必要となる学びや経験に関する事
- (2)上記の学びや経験を実現していくための高校教育のあり方に関する事
- (3)その他上記に関連する事項

### (組織)

第3条 委員会は別紙の者をもって構成する。

- 2 委員会に会長を置く。
- 3 会長は、委員が互選する。
- 4 会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。

### (会議)

第4条 委員会は、第2条に定める事項を検討するため、会議を開催する。

- 2 前項の会議は会長が招集し、会議を主宰する。
- 3 委員が会議を欠席する場合は、委員の指名する者を代理として出席させることができる。
- 4 会長が必要と認めるときは、委員は、テレビ会議システムを利用して会議に出席することができる。
- 5 委員会は、委員以外の者に会議への出席を求め、その意見を聞くことができる。
- 6 会議は公開で行う。ただし、次に掲げる場合であって会議で非公開と決定した場合は、この限りではない。
  - (1)非開示情報が含まれる事項について、協議・調整を行う場合
  - (2)会議を公開することにより、会議の公正又は円滑な運営に支障が生ずると認められる場合

### (任期)

第5条 委員の任期は、委嘱の日から1年間とする。

### (報償)

第6条 委員の報償は、三重県教育委員会規定の報償費支給基準による。

(庶務)

第7条 会議の庶務は、三重県教育委員会事務局教育政策課及び高校教育課において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項については、第4条の会議において決定する。

附則

この要綱は、令和2年10月13日から施行する。

県立高等学校みらいのあり方検討委員会 名簿

(五十音順、敬称略)

荒瀬 克己	独立行政法人教職員支援機構 理事長
江森 真矢子	一般社団法人まなびと 代表理事
荻原 彰 (会長)	国立大学法人三重大学教育学部 教授
奥田 博貴	コネクト代表
オチャンテ 村井 ロサ メルセデス	桃山学院教育大学人間教育学部 准教授
倉田 麻里	ゲストハウスイロンゴ 代表 国際協力コンサルタント
玉村 典久	学校法人玉村学園一志学園高等学校 校長
辻 成尚	亀山高等学校 校長
出口 恵梨子	桑名市立光陵中学校 教諭
中村 安希	作家
中村 峻也	(株)ナカムラ工業図研 代表取締役社長
南 晶子	キッチンコンサルタント TREE FARM 経営者



# 県立高等学校生徒を対象としたアンケート 結果報告

県立高等学校みらいのあり方検討委員会  
令和3年4月

# 目 次

1	はじめに	1
2	調査の概要	1
3	集計結果	
	(1) 高校入学前の意識	
	ア 高校に対する期待	2
	イ 高校選択の主な理由	4
	ウ 高校選択の参考	6
	(2) 入学後の在籍校に対する意識や入学後の日常の動向	
	ア 入学してよかったと実感できる場面	8
	イ 在学している高校の満足度とその要因	10
	ウ 学習の習慣	16
	エ 読書の習慣と学校図書館の利用	22
	オ 地域社会との関わり	28
	(3) 後輩たちのために、これからの高校に期待すること	
	ア 高校生活の中で身につけておくべきこと	32
	イ これから学びたいことや興味関心を持っていること	36
	ウ 受講したい授業のあり方	38
	エ 県立高校に対する改善案	40
	オ みらいの高校像	42

## 1 はじめに

三重県教育委員会では、令和2年10月から令和3年4月にかけて、「県立高等学校みらいのあり方検討委員会」（以下、「みらい委員会」という。）を設置して、これからの時代を生きていく高校生に必要となる学びや経験、それらを実現していくための高校教育のあり方について、幅広く多様な観点・角度からの議論を行いました。そのような中、みらい委員会での議論の深化につなげられるよう、今年度県立高等学校に入学した生徒を対象として、高等学校教育の現状と課題、未来像および在籍する高校に対する期待等に関するアンケートを実施しました。

## 2 調査の概要

### (1) 実施時期

令和2年12月～令和3年1月

### (2) 調査対象

全県立高等学校における、以下に示す学科に在籍する令和2年度入学生

普通科

農業に関する学科

工業に関する学科

商業に関する学科

水産に関する学科

家庭に関する学科

看護に関する学科

情報に関する学科

福祉に関する学科

総合学科

その他の学科

### (3) 調査形態

「Google Forms」を用いたインターネット接続によるアンケート

### (4) 回答者数

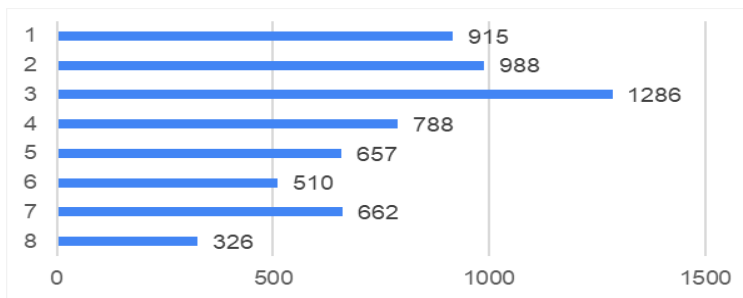
3,373人

### 3 集約結果

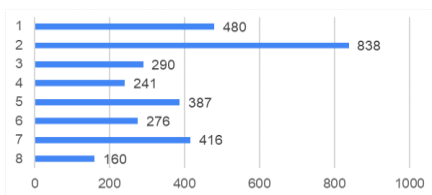
質問1 高校に入学する前、高校に対して期待していたことは何ですか。(2つまで選べます)

- 1 社会に出て暮らすときに必要となる基礎的・基本的な学力を身につけることができる
- 2 大学などに進学するために必要となる学力を身につけることができる
- 3 将来必要となる資格や技能を身につけることができる
- 4 興味・関心のある分野の学習を深めることができる
- 5 文化祭・体育祭などの学校行事に活発に取り組むことができる
- 6 部活動に活発に取り組むことができる
- 7 友人や先輩、先生などたくさんの人と出会うことができる
- 8 社会人になったときに必要となる礼儀やマナーを身につけることができる

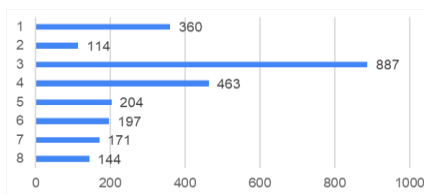
全体 回答者数：3,373



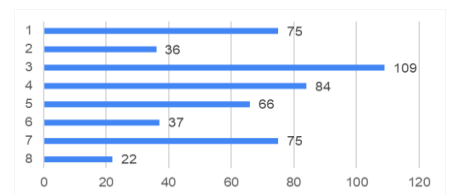
普通科、普通科系専門学科 ※1  
回答者数：1,695



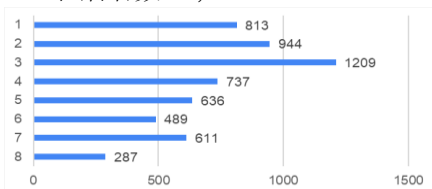
職業系専門学科 ※2  
回答者数：1,395



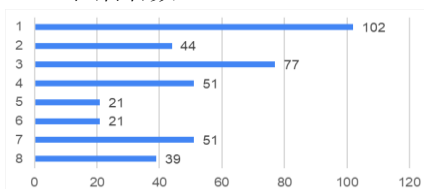
総合学科 ※3  
回答者数：283



全日制  
回答者数：3,146



定時制・通信制  
回答者数：227



《その他（自由記述）》の主な回答

- ・自分が成長できる
- ・興味・関心のある分野を増やすことができる
- ・みんなで協力しあってひとつの問題について議論していくことができる
- ・いろいろな人のアイデアに出会えると思ったから
- ・人間関係の構築スキルを上げること
- ・中学校の時より学校が楽しくなる
- ・勉強に積極的な環境
- ・英語をもっと学びたいからです
- ・機械をたくさんの時間使える
- ・学歴取得
- ・短期海外留学
- ・修学旅行・制服
- ・入学する前は何も期待してな



※1 普通科系専門学科

「専門学科」のうち、職業に関する学科以外の学科（理数科、体育科、英語コミュニケーション科、国際教養科、国際科学科、国際文理科、応用デザイン科）のこと。

※2 職業系専門学科

「専門学科」のうち職業に関する学科（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉に関する学科）のこと。

※3 総合学科

「普通科」と「専門学科」の良さを併せ持った学科。生徒はきめ細かい進路指導のもと、進路希望や興味関心に応じて、学年の区分とは関係なく普通科目と専門科目にわたる幅広い科目を選択できる。

【回答結果から】

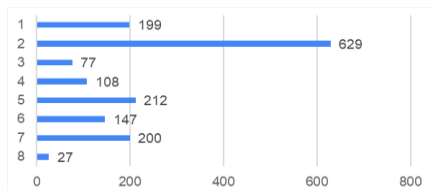
- 全体では、「3 将来必要となる資格や技能を身につけること」に期待する回答が最も多く、高校時代に卒業後の就業において役立つ力を身につけておきたい、と考えて高校に入学してくる生徒が多いことが伺えます。
- 回答結果を学科別に区分して比較すると、普通科および普通科系専門学科（以下、「普通科」という。）では「2 大学などに進学するために必要となる学力を身につけること」に期待する回答が、職業系専門学科（以下、「職業学科」という。）と総合学科では「3 将来必要となる資格や技能を身につけること」に期待する回答が、それぞれ最多となり、在籍する学科により身につけたいと考えている力が異なる傾向にあります。
- 大学等への進学者が多い高校における普通科※4 では、「2 大学などに進学するために必要となる学力を身につけること」への回答が多く、就職者が多い高校における普通科※5 では、「1 社会に出て暮らすときに必要となる基礎的・基本的な学力を身につけること」への回答が多くなっています。

※4 令和元年度において、大学・短大・大学校等への進学者数が卒業した生徒の70%以上を占める全日制課程普通科

※5 令和元年度において、就職者数が卒業した生徒の50%以上を占める全日制課程普通科

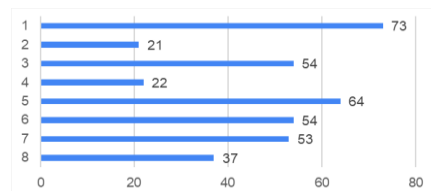
大学等への進学者が多い普通科

回答者数：878



就職者が多い普通科

回答者数：207

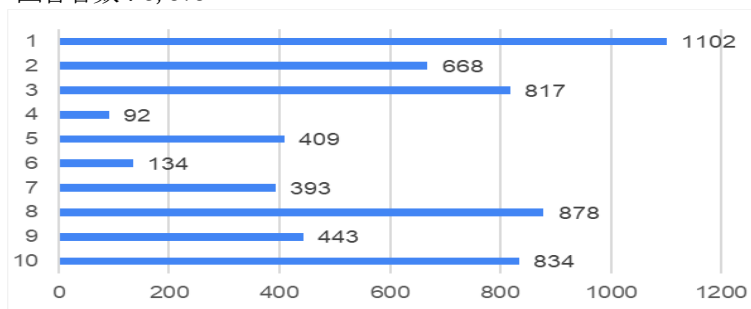


- 職業学科においては、いずれの学科も「3 将来必要となる資格や技能を身につけること」に期待する回答が最多となっています。
- 課程別に区分して比較すると、全日制では「3 将来必要となる資格や技能を身につけること」、定時制・通信制では「1 社会に出て暮らすときに必要となる基礎的・基本的な学力を身につけること」への回答が最多となっています。

質問2 現在通っている高校を選んだ理由は何ですか。(2つまで選べます)

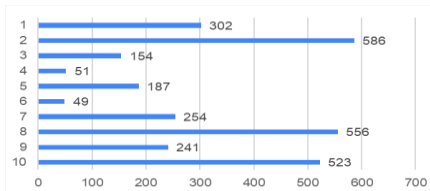
- 1 学びたい、または興味・関心のある内容の学習ができる
- 2 卒業後に大学に進学するための学習ができる
- 3 将来就きたい仕事と関係する学習ができる
- 4 地域の人々と関わりながら地域について学ぶ学習ができる
- 5 入部したい部活動がある
- 6 施設や設備が充実している
- 7 学校のもつ雰囲気やイメージがあっていた
- 8 自分の実力にあっている高校だと思った
- 9 家族や親せき、中学校の先生などにすすめられた
- 10 自宅から近く、通いやすい

全体 回答者数：3,373



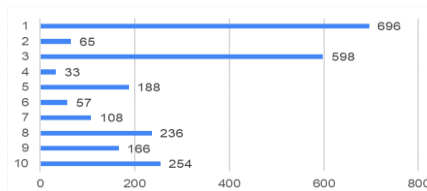
普通科、普通科系専門学科

回答者数：1,695



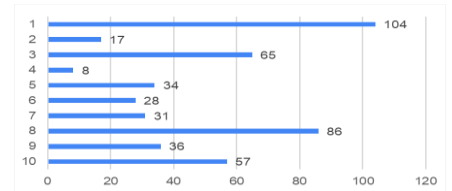
職業系専門学科

回答者数：1,395



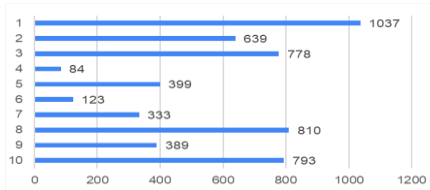
総合学科

回答者数：283



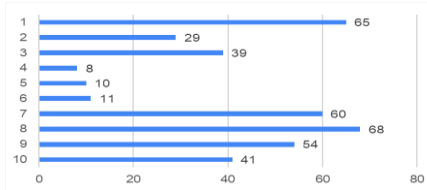
全日制

回答者数：3,146



定時制・通信制

回答者数：227



《その他（自由記述）》の主な回答

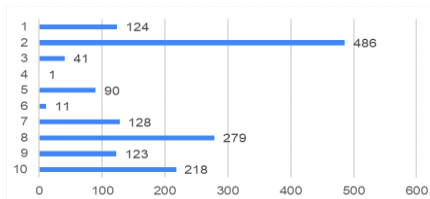
- ・SSH 認定校なので活動の幅が広いと聞いたから / ・興味のある学科があったから
- ・普通科では取れない資格が多く取得できるから / ・就職率が高い / ・高校卒業後の進路を広げるため
- ・学校のシステムが自分に合っていた / ・秋期入学可
- ・中学校でできなかったことをできるようにするため
- ・全日制や通信制は今の自分に合っていないと思ったから
- ・修学旅行
- ・部活で全国大会に行くから
- ・先輩に勧められた / ・良い先輩がいるため / ・友達に勧められた
- ・制服があって偏差値が高い
- ・髪染めてピアス自由だから / ・適当に選びました / ・第一志望の高校に落ちたから

【回答結果から】

- 高校選択の理由として、全体では、「1 学びたい、または興味・関心のある内容の学習ができる」が最多であるとともに、「3 将来就きたい仕事と関係する学習ができる」「2 卒業後に大学に進学するための学習ができる」といった学習内容を理由とする回答が多くありました。また、「8 自分の実力にあっている高校だと思った」「10 自宅から近く、通いやすい」との回答も多くあります。
- 学科別では、普通科では「2 大学に進学するための学習ができる」への回答が最多、職業学科と総合学科では「1 学びたい、または興味・関心のある内容の学習ができる」と「3 将来就きたい仕事と関係する学習ができる」への回答が多くなっており、在籍する学科により高校を選択する理由への傾向が異なっています。
- 大学等への進学者が多い普通科では「2 大学に進学するための学習ができる」が、就職者が多い普通科では「8 自分の実力にあっている高校だと思った」への回答が最多となっています。

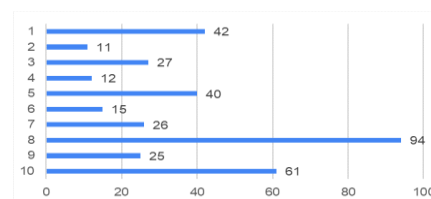
大学等への進学者が多い普通科

回答者数：878



就職者が多い普通科

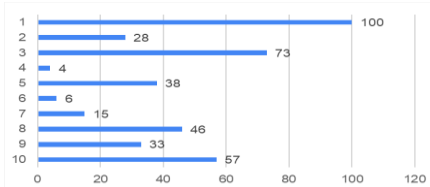
回答者数：207



- 職業学科においては、農業、商業、家庭、情報に関する学科では「1 学びたい、または興味・関心のある内容の学習ができる」が最多、工業、水産、看護、福祉に関する学科では「3 将来就きたい仕事と関係する学習ができる」が最多となっています。

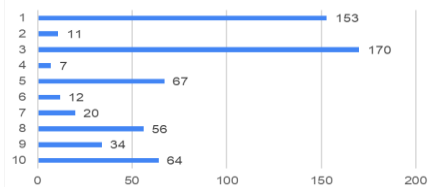
商業に関する学科

回答者数：227



工業に関する学科

回答者数：347

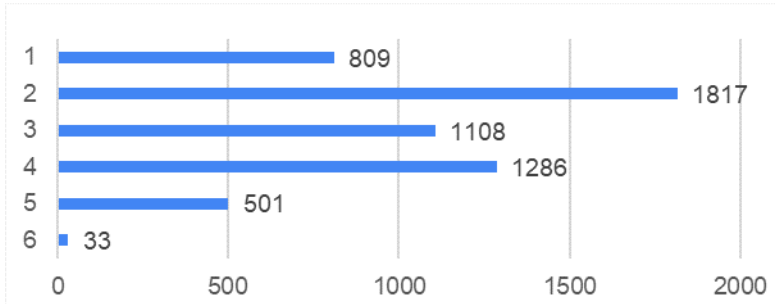


- 課程別では、全日制では「1 学びたい、または興味・関心のある内容の学習」が、定時制・通信制では「1 学びたい、または興味・関心のある内容の学習」とともに「8 自分の実力にあっている高校だと思った」への回答が多くなっています。

質問3 高校を選ぶとき、参考にしたことは何ですか。(2つまで選べます)

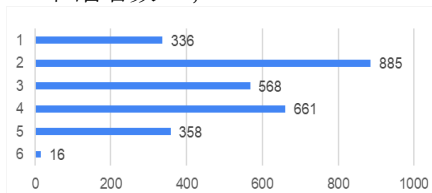
- 1 各学校のウェブサイト
- 2 各学校のオープンスクール(高校入門講座)や学校説明会
- 3 中学校の進路指導
- 4 先輩・知人や家の人などからの情報
- 5 塾からの情報
- 6 新聞・テレビなどからの情報

全体 回答者数：3,373



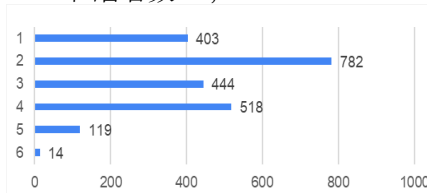
普通科、普通科系専門学科

回答者数：1,695



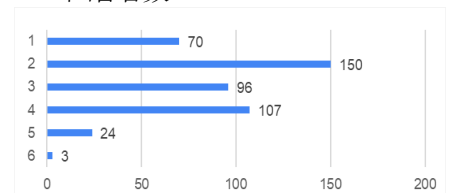
職業系専門学科

回答者数：1,395



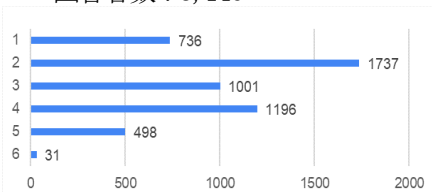
総合学科

回答者数：283



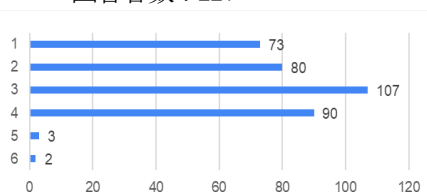
全日制

回答者数：3,146



定時制・通信制

回答者数：227



《その他(自由記述)》の主な回答

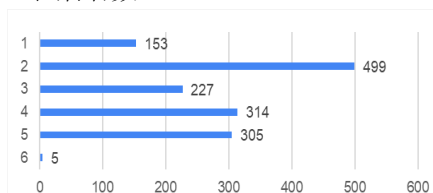
- ・部活動で合同練習をさせていただいた時の雰囲気 / ・体験入部
- ・地域未来留学
- ・市の教育相談窓口
- ・パンフレット
- ・先生に勧められた
- ・家庭教師からの情報
- ・絵画教室の先輩
- ・兄からの情報
- ・コンピューターについて学べると思ったから
- ・昔から興味があった
- ・1番難関だったから
- ・通学のしやすさ
- ・インターネットで調べた / ・みんなの高校偏差値サイト

【回答結果から】

- 全体および学科別でも「2 各学校のオープンスクール（学校入門講座）や学校説明会」が最多であり、生徒が実際に志望校を訪問し取組状況等を体感することは、高校選択に大きな影響があることが伺えます。
- 大学等への進学者が多い普通科では「2 各学校のオープンスクール（学校入門講座）や学校説明会」が最多、就職者が多い普通科では「3 中学校の進路指導」が最多で「2 各学校のオープンスクール（学校入門講座）や学校説明会」「4 先輩・知人や家の人などからの情報」がそれに続いています。

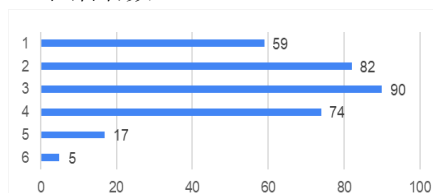
大学等への進学者が多い普通科

回答者数：878



就職者が多い普通科

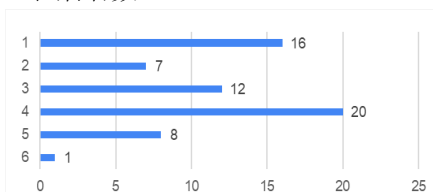
回答者数：207



- 職業学科でも「2 各学校のオープンスクール（学校入門講座）や学校説明会」が最多で、看護に関する学科のみ「4 先輩・知人や家の人などからの情報」が最多となっており、以下「1 各学校のウェブサイト」「3 中学校の進路指導」と続いています。

看護に関する学科

回答者数：40



- 定時制・通信制では「3 中学校の進路指導」が高校選択にとって大きな影響があることが伺えます。

質問4 どんなときに、現在通っている高校に入学できてよかった、と実感できますか。(自由に書いてください)

【学びの内容に関わること】

- ・ 模試などが多く、こまめに自分の実力を知ることができ、それらが自分の苦手を克服する手助けになってくれると思います
- ・ レベルの高い学習ができ、レベルの高い仲間と共に切磋琢磨しながら、勉強を含めいろんなことに挑戦できる
- ・ 全校模試で成績が良かった時や、部活動で成績を残せたとき、たくさん良い友達ができたと
- ・ SSHの学習をしている時や自分にあった自主自立の雰囲気を感じる時、部活動をしている時
- ・ ふくしについて専門的な事が学べて、分からない所を丁寧に分かるまで優しく教えてくれること。勉強以外でも行事が多くて楽しい。部活も積極的に活動している人が多いと思います
- ・ 自分が福祉について勉強しているときに身につけているなどと思って自分の夢に近づいていると思ったときにこの高校でよかったと思ったり、友達と何気ない会話で楽しいなどと思ったら実感します
- ・ テレビ番組など高校に通う前までは難しいと感じていた病名などの症状がわかったりすると少し嬉しくなる
- ・ 農業に関することを学んでいる時に特に入学出来て良かったと実感しています
- ・ 工業高校なので実習など工業に関するいろいろな事が学べる
- ・ たくさんの資格を取得できていて、他校では学べない教科を学ぶことができ、将来にも大切なことを学べていると思よかったと思う
- ・ この検定にチャレンジできていること自体がこの高校に入学できたからこそだなと思っています
- ・ この学科でしか学べないことを経験したり体験したりできた時
- ・ 自分の就きたい仕事の事について勉強できる科目がある時
- ・ 検定や、資格を取るための勉強をしているとき
- ・ デュアルコースもあり、将来を考えやすくなった
- ・ 産業社会と人間の授業で先輩のためになる話が聞ける時、学校内で大学や専門学校の説明会に参加できる時
- ・ 総合学科なので自分の将来のことが考えられる
- ・ 授業でパソコンに触れること、基礎的なところから授業ができること、友達がたくさんできたこと
- ・ デジタル化が進んでいる今にあった授業(情テクや情社、情表現)ができること
- ・ 体育でサッカーなど楽しいスポーツができる
- ・ 授業の内容が難しくても、それを考えたり質問をしたりすることで解決できたとき
- ・ 授業で釣りをしたり、授業じゃないような授業があつて面白い
- ・ 中学校のとき解けなかった問題が解けるようになったとき

【学校生活全体に関わること】

- ・ 雰囲気がものすごく落ち着いてみんなが頑張ろうとしている学校だと思います。私のクラスは、みんなが頑張ろうと切磋琢磨できるクラスだからこここの学校に入ってよかったと思います
- ・ 学校生活の雰囲気が自分に合っているなど感じた時(自立した行動を求められる、生徒同士で高めあえる、生徒を信頼した自由な授業や校則など)
- ・ 私自身も楽しく通わせてもらっていますが、娘が今の学校・クラスでの日々が楽しみのようなので、それが一番良かったと思うことです
- ・ 学校行事などの時、他の学校よりも学校全体が本気で取り組んでいる所が凄く楽しいので入学できてよかったと実感します
- ・ 中学校のとき経験できなかった楽しい部活ができたときや、勉強でわからないところをすぐ先生に聞いたとき
- ・ ほかの高校に行った友達と話をするとき、自分の通っている高校の方が自分に合っていると思ったとき
- ・ 勉強をしなければいけないという環境で雰囲気があるので学習のとき集中出来ることです
- ・ 中学校の時よりも充実した生活をおくれているので入学出来てよかったと思っています
- ・ 勉強がわかりやすくて、充実した高校生活がてきていると実感があります!
- ・ 実習が楽しいと感じる時。文化祭や販売所で農林の美味しい物が買えた時
- ・ 実習で他の学校で学べないようなことを知れたとき
- ・ 実習等でこの学校でしかできない体験ができること
- ・ 実習で本格的な技術や知識が学べたとき
- ・ Yes, I enjoy my highschool because I learn a lot.
- ・ 自分の実力にあった高校で自分なりに頑張れる

- ・ 昼から用事が入った時など夜間から気にせずいける
- ・ 学生生活をしていなかったのも、意外と楽しい
- ・ じっくり自分のペースで勉強出来る
- ・ 大学お金をためながら学校に行ける
- ・ e-sports ができた時

#### 【人との関わりに関すること】

- ・ いろいろな人とコミュニケーションがとれたり、自分の分からなかったことがいろいろ学べたりしています。そして、みんなそれぞれ頑張っていたり、助け合いをしていたりして、良い学校だと思います。この学校に入学して本当に良かったです
- ・ たくさんの人に出会えて自分の考え方や人間性を磨くことが出来ているので良かったと思う。ただ理不尽な校則が多くそこをもう少し調べてから高校選びをすれば良かったと後悔している点もある
- ・ 周りにいる友達からたくさん刺激を受けることができ、もっと頑張ろうと自分の学力を向上させることができる。
- ・ この学校はみんなフレンドリーで、中学校よりも簡単に友達を作ることができました。みんな優しいので、班活動もスムーズに話し合いができます
- ・ 先生や先輩方も話しやすく学校生活に対して不安が少ない
- ・ クラスの人と一緒に文化祭とか体育祭とか色んな行事で楽しめたとき
- ・ 色んな人と出会えることによって新しい感覚を身に付けられること
- ・ 知ってる人の少ない所なので新しい友達ができるところ
- ・ 先輩が後輩とか関係なく仲良くしてくれる

#### 【教師の関わりについて】

- ・ 私は今、音楽関係の専門学校を目指していて、最近まで来年の選択科目で音楽にするか無難な数字Bを選ぶかずっと迷っていた時に、音楽の先生に相談したところ色々なアドバイスや助言を頂いて親身になって考えてくれたときです
- ・ 授業の内容が分からないとき、先生が自分に理解できるまで丁寧に教えてくれる(他の学校ではできて当たり前なのかして教えてくれないときがあるところもあるので)、それと、総合学科なので自分が受けたい授業を選択できる
- ・ 先生に勉強の質問をしたときに優しく丁寧に教えてくれたり、自分が勉強や日常生活の相談などをしたときに熱心に話を聞いてくれてアドバイスをしてくれるとき
- ・ 髪型や、カバンに指定がなく自分の個性を出せれるところや、先生方がとても親身になってやりたいことを伸ばしてくれるところ
- ・ 担任の先生が自分たちのダメなところを叱ってくれるので将来良い大人になりそうです。先生ありがとうございます!!!
- ・ 自分の進路実現のために、勉強していく上でのアドバイスや仕方を親身になって教えてくれるとき
- ・ Im happy because the teachers here are very kind.
- ・ 先生方とお話する機会が他の学校より多いと感じたとき
- ・ 先生が他校と比べて優しいこと

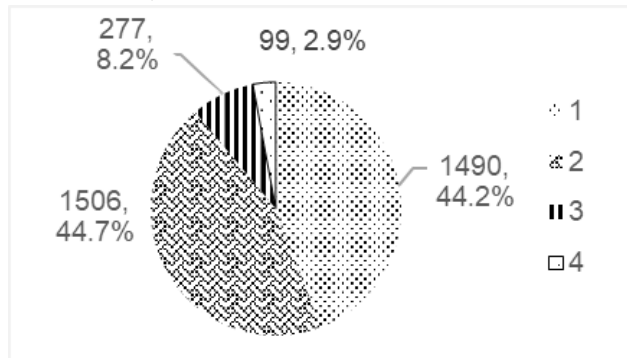
#### 【その他】

- ・ 家族や親戚などに褒められたりおめでとうって喜んでくれる時
- ・ 他校の生徒から私の高校が楽しそうといわれたとき
- ・ I want to finish my school and work hard even thou the pandemic isn` t finish. I want my parents proud of me even thou I` m lazy. I want to go to college also and fullfill my dreams, in the future I want to become a professional Flight Attendant someday. I want to fulfill my promises to my love one`s. I would like to thank some of my friends who cheering me up when I` m lazy to go to school. I want to thank to all the teachers who always appreciate all my works even thou it`s hard. To my love one`s in other country I would like to cheer you up. we can do it do not give up. To my future life I hope it`s not that hard. Thank you.

質問5 現在通っている高校での生活について、満足していますか。(選べるのは1つだけです)

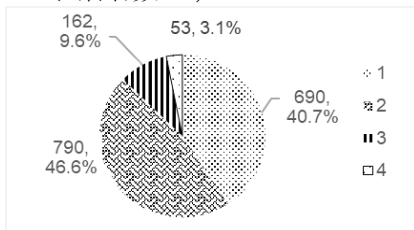
- 1 満足している
- 2 どちらかといえば満足している
- 3 どちらかといえば満足していない
- 4 満足していない

**全体** 回答者数：3,372



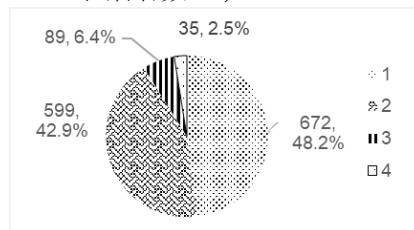
**普通科、普通科系専門学科**

回答者数：1,695



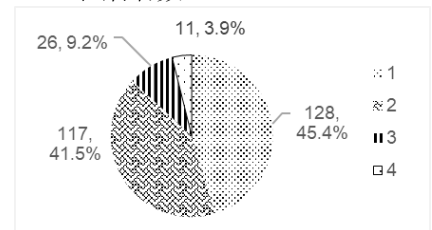
**職業系専門学科**

回答者数：1,395



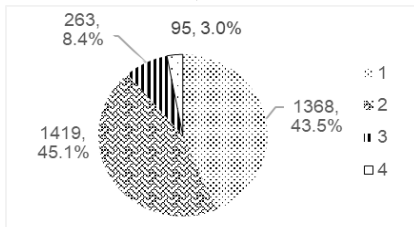
**総合学科**

回答者数：282



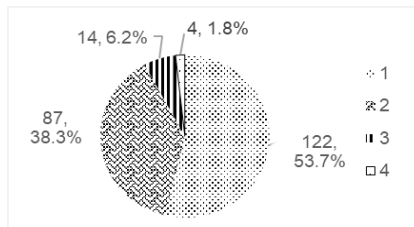
**全日制**

回答者数：3,145



**定時制・通信制**

回答者数：227



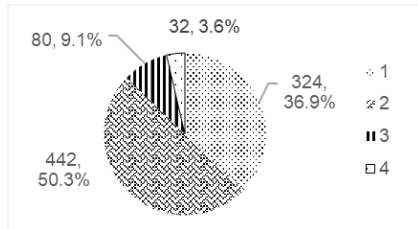


【回答結果から】

- 全体では、88.9%の生徒が「1 満足している」または「2 どちらかといえば満足している」と回答しました。
- 学科別では、普通科で87.3%、職業学科で91.1%、総合学科で86.9%の生徒が「1 満足している」または「2 どちらかといえば満足している」と回答しました。
- 大学等への進学者が多い普通科では87.2%の生徒が、就職者が多い普通科では86.9%の生徒が、それぞれ「1 満足している」または「2 どちらかといえば満足している」と回答しました。

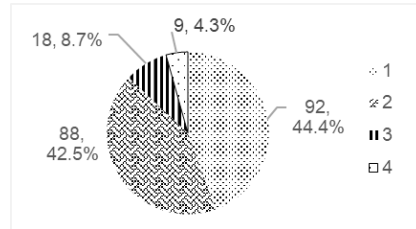
大学等への進学者が多い普通科

回答者数：878



就職者が多い普通科

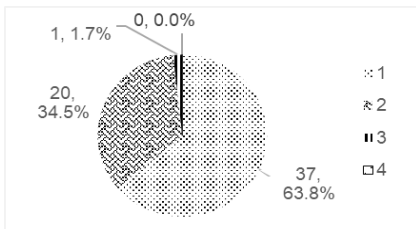
回答者数：207



- 職業学科のうち、水産に関する学科では98.3%の生徒が、福祉に関する学科では94.9%の生徒が、工業に関する学科では93.0%の生徒が、それぞれ「1 満足している」または「2 どちらかといえば満足している」と回答しました。

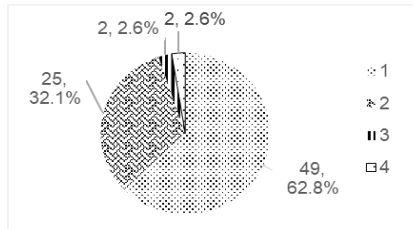
水産に関する学科

回答者数：58



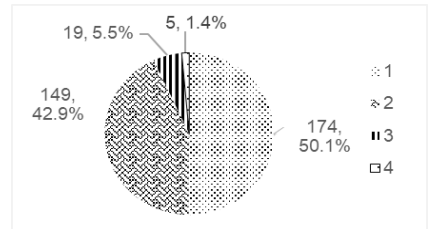
福祉に関する学科

回答者数：78



工業に関する学科

回答者数：347

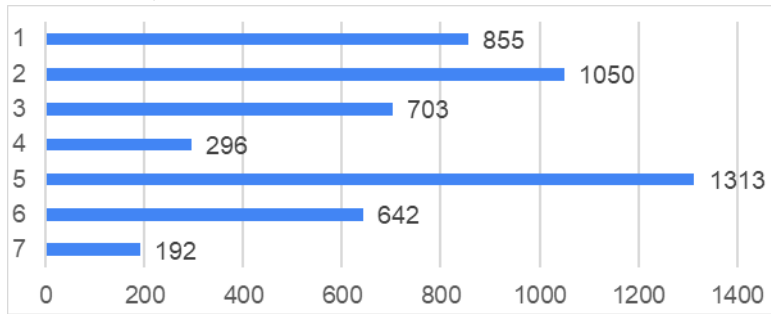


- 課程別では、全日制では88.6%の生徒が、定時制・通信制では92.0%の生徒が、それぞれ「1 満足している」または「2 どちらかといえば満足している」と回答しました。

質問6 質問5で、「① 満足している」「② どちらかといえば満足している」と答えた人にお尋ねします。そのように答えた理由は何ですか。(2つまで選べます)

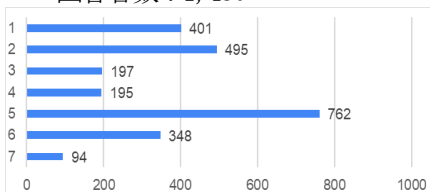
- 1 ためになると思える授業がある
- 2 楽しいと思える授業がある
- 3 ほかの学校にはない特徴的な学習や活動がある
- 4 先生が丁寧に指導してくれたり、相談にのってくれたりする
- 5 友人や先輩などと、よい人間関係がつくれている
- 6 部活動が楽しく、充実して取り組んでいる
- 7 社会人になったときに必要となる礼儀やマナーを身につけることができる

**全体** 回答者数：2,996



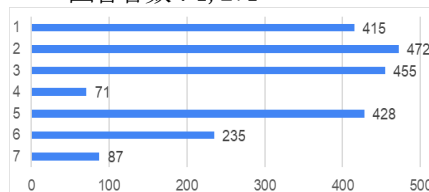
**普通科、普通科系専門学科**

回答者数：1,480



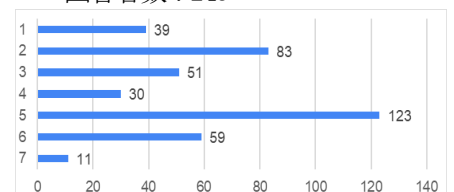
**職業系専門学科**

回答者数：1,271



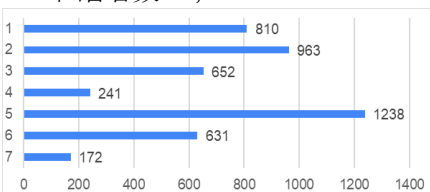
**総合学科**

回答者数：245



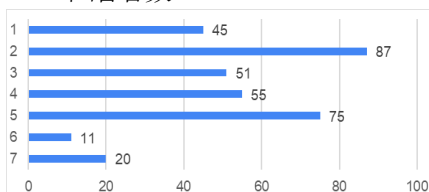
**全日制**

回答者数：2,787



**定時制・通信制**

回答者数：209



《その他（自由記述）》の主な回答

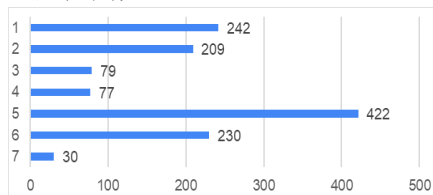
- ・ スポレクなどの行事が他の高校に比べて多くあること
- ・ 自分のペースで通えて、ゆっくり時間をかけて卒業できること
- ・ 社会に役立つ検定が取れるから
- ・ 資格がとれる
- ・ 周りの友だちが個性豊かで新しい発見がある
- ・ 友達がたくさんできたから
- ・ レベルの高いなかまがいる
- ・ 仲の良い友達がいる
- ・ クラスが楽しいから
- ・ 優しい先生がいるから
- ・ 先生がかっこいい
- ・ 優しい先生が多い
- ・ 何もない日常だから満足している

【回答結果から】

- 全体では、「5 友人や先輩などと、よい人間関係がつくれている」が最多で、「2 楽しいと思える授業がある」がそれに続いています。
- 学科別では、「5 友人や先輩などと、よい人間関係がつくれている」が普通科と総合学科で最多、職業学科でも多くの回答があります。また、職業学科では「2 楽しいと思える授業がある」が最多であるほか「3 ほかの学校にはない特徴的な学習や活動がある」「1 ためになると思える授業がある」への回答が多く、専門分野について学んだり活動できたりすることが満足度につながっていることが伺えます。
- 大学等への進学者が多い普通科、就職者が多い普通科のどちらも、「5 友人や先輩などと、よい人間関係がつくれている」が最多となっています。

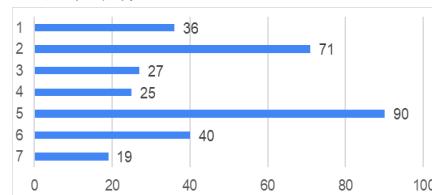
大学等への進学者が多い普通科

回答者数：766



就職者が多い普通科

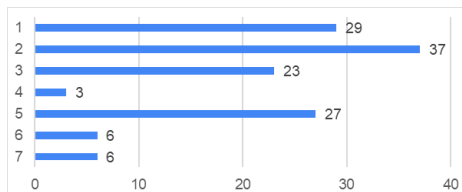
回答者数：180



- 職業学科においては、水産、福祉に関する学科では「2 楽しいと思える授業がある」が、農業、家庭に関する学科では「3 ほかの学校にはない特徴的な学習や活動がある」が、工業、商業に関する学科では「5 友人や先輩などと、よい人間関係がつくれている」が、看護、情報に関する学科では「1 ためになると思える授業がある」が、それぞれ最多となっています。

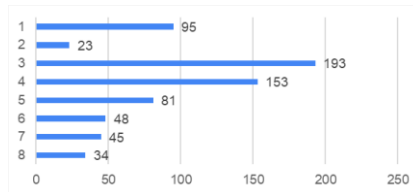
福祉に関する学科

回答者数：74



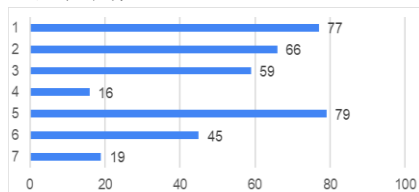
農業に関する学科

回答者数：341



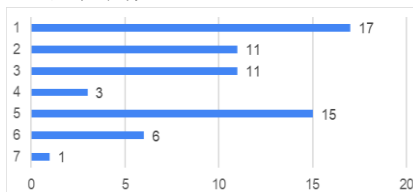
商業に関する学科

回答者数：204



情報に関する学科

回答者数：36

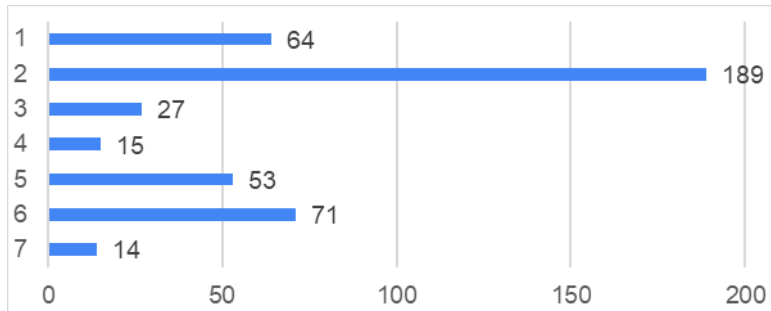


- 課程別では、全日制では「5 友人や先輩などと、よい人間関係がつくれている」が最多、定時制・通信制では「2 楽しいと思える授業がある」が最多となっています。

質問6 質問5で、「③ どちらかといえば満足していない」「④ 満足していない」と答えた人にお尋ねします。そのように答えた理由は何ですか。(2つまで選べます)

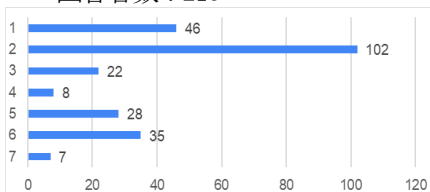
- 1 ためになると思える授業が少ない
- 2 楽しいと思える授業が少ない
- 3 その学校ならではの特徴的な学習や活動がない
- 4 先生との関わりがあまりなく、指導をしてもらったり相談にのってもらったりする機会がない
- 5 友人や先輩など、人との出会いの機会が少ない
- 6 部活動が楽しくない
- 7 社会人になったときに必要となる礼儀やマナーを身につけることができない

全体 回答者数：376



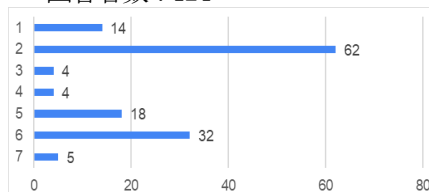
普通科、普通科系専門学科

回答者数：215



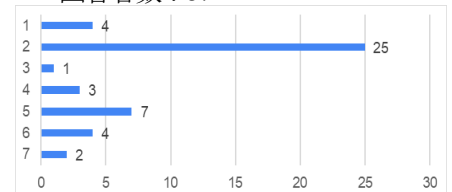
職業系専門学科

回答者数：124



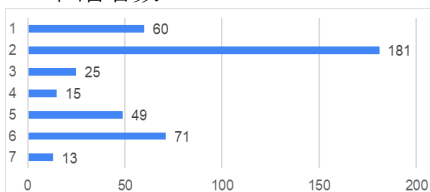
総合学科

回答者数：37



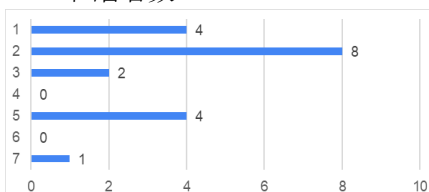
全日制

回答者数：358



定時制・通信制

回答者数：18



《その他（自由記述）》の主な回答

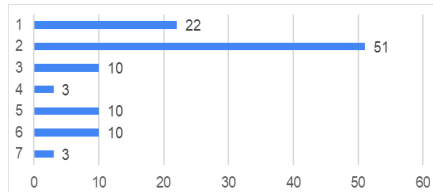
- ・ 答えのない問いに対して考え自分の意見を持ちそれを共有し行動するという将来に必要な力を養われていないから
- ・ 興味のない授業を一生懸命勉強しなければならないし、その勉強がはかどらないから
- ・ 学校の授業だけではこの高校のレベルについていけない / ・ 授業中に学習範囲を理解したことがない
- ・ 授業のペースについていけないから / ・ 無駄な授業が多いと感じる / ・ 課題や小テストが多すぎる
- ・ 体育祭や文化祭など行事の規模が小さく楽しくない / ・ コロナの影響でほとんどの行事ができない
- ・ 面接等で話した行事が全て無い
- ・ クラスでの協力関係が今のところ見えない / ・ 今いるクラスに馴染めてない / ・ 友人関係がよくない
- ・ 友達との問題が多い
- ・ よく部活などで愚痴られる / ・ 部活動に入部できていない / ・ 部活が多すぎる
- ・ スマホはダメなのにアップルウォッチが良いのはよく分からない
- ・ 意味の無いような校則で生徒を縛り上げているところ / ・ 理不尽な校則が多い / ・ 校則が古臭い
- ・ 先生の態度が傲慢に感じる時がある / ・ 先生の生徒への態度が良くない / ・ 先生が短気すぎる
- ・ 希望の学校ではないから / ・ 未来が見えないから / ・ 多言語の壁がある
- ・ 家から遠い / ・ 休みがない

【回答結果から】

- 全体、学科別、課程別いずれも、「2 楽しいと思える授業が少ない」が最多となっています。
- 大学等への進学者が多い普通科および就職者が多い普通科、ならびにいずれの職業学科においても、同様の結果です。

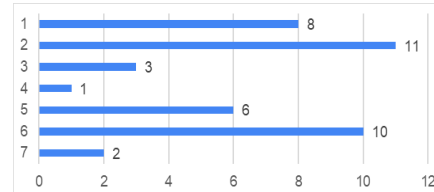
大学等への進学者が多い普通科

回答者数：112



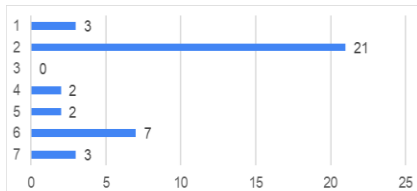
就職者が多い普通科

回答者数：27



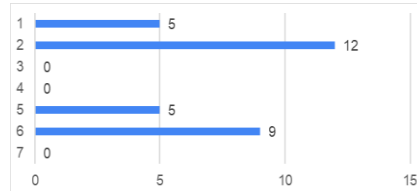
農業に関する学科

回答者数：36



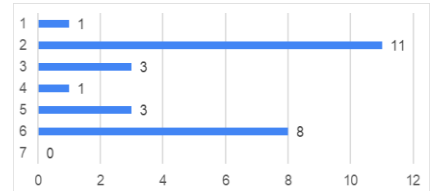
工業に関する学科

回答者数：24



商業に関する学科

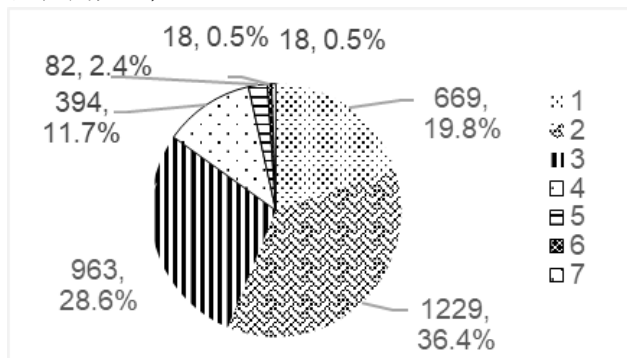
回答者数：23



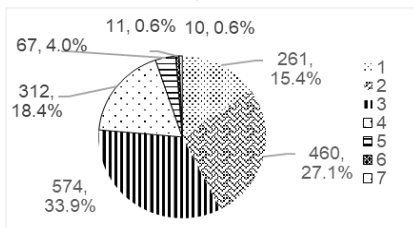
質問7-1 あなたは普段、授業の予習・復習や受験勉強、資格取得のための学習などを、授業以外（家や塾、放課後の学校等）でどれくらいしていますか。平日について、教えてください。（選べるのは1つだけです）

- 1 全くしない
- 2 1時間未満
- 3 1～2時間未満
- 4 2～3時間未満
- 5 3～4時間未満
- 6 4～5時間未満
- 7 5時間以上

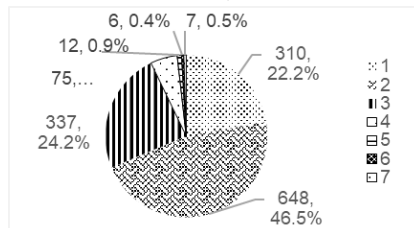
全体 回答者数：3,373



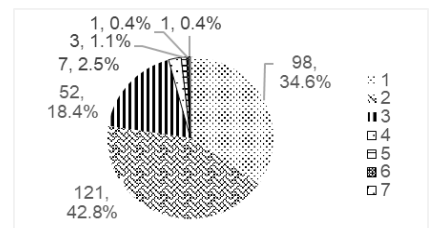
普通科、普通科系専門学科  
回答者数：1,695



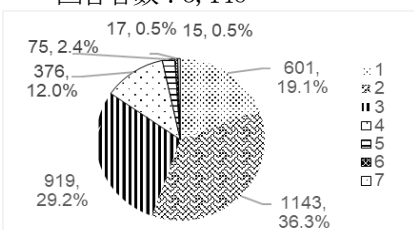
職業系専門学科  
回答者数：1,395



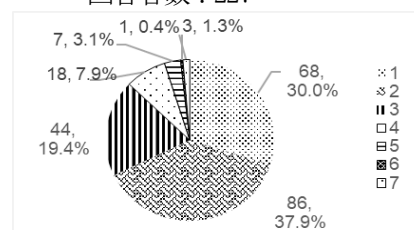
総合学科  
回答者数：283



全日制  
回答者数：3,146



定時制・通信制  
回答者数：227



質問7-1 (2) 質問7-1で「① 全くしない」と答えた人にお尋ねします。その理由を教えてください。

- ・学校やクラブ活動で疲れているから。何もしゃべらない問題集をあまり面白いと思わないから
- ・部活で帰宅時間が遅く、少しの休憩と夕食、入浴が終われば寝てしまうから
- ・交通の便が悪く、部活が終わり帰ると7時とかで出来ないから
- ・部活終わってから勉強しようと思うとやる気がでずにいるから
- ・部活動が忙しかったり、通学時間が長く、眠いから
- ・部活や習い事で帰るのが遅く勉強する時間が無い

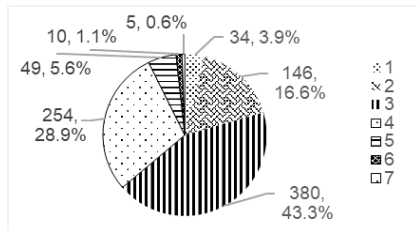
- ・部活動が忙しくてあまり時間が取れないから
  - ・部活で疲れたら寝てしまうから
- 
- ・授業を聞くだけで内容の理解ができるし、授業中にワークを終わらせたりしてるから
  - ・自学自習というのものもあるからなのか、提出物以外は全く何もしません
  - ・授業についていける科目が多いから。それとやる気がでない
  - ・その必要がないほど理解しやすい授業だから
  - ・しなくても授業のレベルに追いつけるから
  - ・予習復習しなくてもできるレベルだから
  - ・テスト前に勉強すれば点数がとれるから
  - ・しなくてもある程度点数が取れるから
  - ・学校だけでなんとかなるから
  - ・授業で大体は覚えれるから
- 
- ・家に帰ったら疲労感がすごくすぐ寝てしまう、または好きなゲームをしてしまう
  - ・中学校の頃の癖が治ってなくてやろうと思ってもなかなか出来ないから
  - ・帰りが遅くて疲れているのと、時間がないのと、やりたくないから
  - ・仕事が朝早く、帰りが遅いためしようと思える気持ちがない
  - ・やる気にならない。テスト前だけしている
  - ・忙しいことに加え、やる気がないから
  - ・勉強へのやる気が起きないから
  - ・だらけてしまうから
  - ・やる気が乗らない
  - ・寝てしまう
- 
- ・勉強をしてもすぐに飽きてしまう。勉強が好きじゃないから
  - ・めんどくさい、勉強が嫌い
  - ・勉強が嫌いだから
- 
- ・時間がない。帰ったらもう夜遅い。ご飯食べてお風呂入ったら12時近い
  - ・普段は仕事、子供がいる中でなかなか勉強に集中できない
  - ・勉強よりしなければいけないことがあるから
  - ・家の手伝いがあるからできないから
  - ・他のことに時間を使うから
  - ・他のことをしたい
  - ・仕事で忙しいから
  - ・する時間がない
- 
- ・家での勉強のしかたがわからない(学校での授業の仕方は習ったからわかる)
  - ・何をしたら良いか分からないから、自分のやりたいことがないから
  - ・どうやって勉強をしたらいいかわからないから
  - ・何をしたらいいのかわからないから
- 
- ・家では勉強が進まないから、塾などに通ってないから
  - ・家に帰ってやっても身につかないから
  - ・やる気がないときにしても頭に入らないから
  - ・取りたい資格が決まっていないから

【回答結果から】

- 全回答者のほぼ5人に1人（19.8%）が「1 全くしない」と回答しており、学科別では普通科で、課程別では全日制で、その割合が全体よりも少なくなっています。
- 大学等への進学者が多い普通科では「3 1～2時間未満」が最多、就職者が多い普通科では「1 全くしない」が最多となっています。

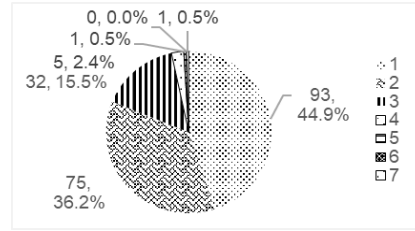
大学等への進学者が多い普通科

回答者数：878



就職者が多い普通科

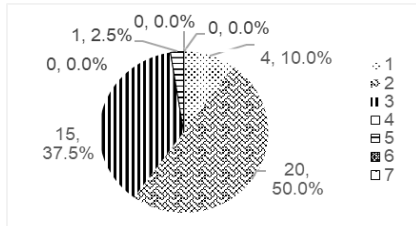
回答者数：207



- 職業学科において、「1 全くしない」と回答した割合が全体（19.8%）よりも少なかったのは、看護、商業、情報に関する学科でした。

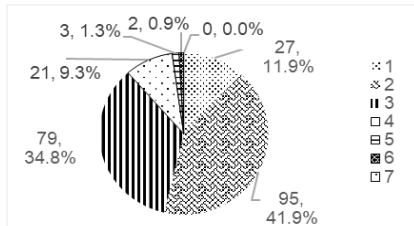
看護に関する学科

回答者数：40



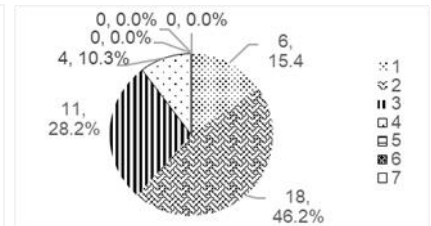
商業に関する学科

回答者数：227



情報に関する学科

回答者数：39

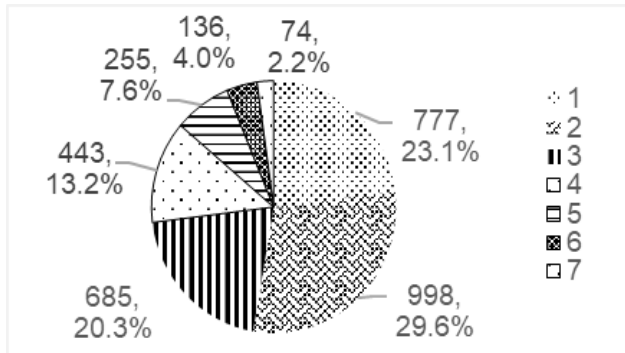




質問7-2 同じく、休日について、答えてください。(選べるのは1つだけです)

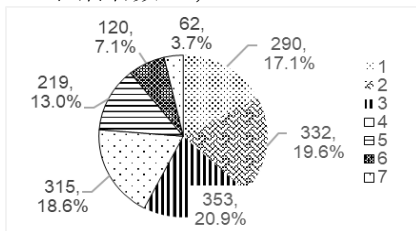
- 1 全くしない
- 2 1時間未満
- 3 1～2時間未満
- 4 2～3時間未満
- 5 3～4時間未満
- 6 4～5時間未満
- 7 5時間以上

全体 回答者数：3,368



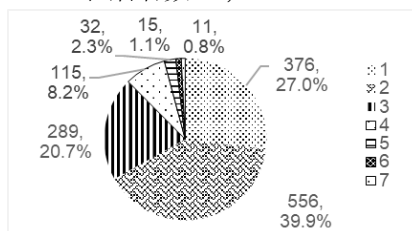
普通科、普通科系専門学科

回答者数：1,691



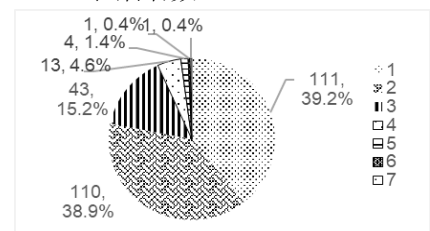
職業系専門学科

回答者数：1,394



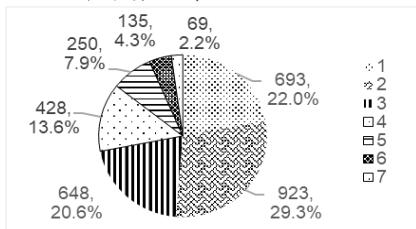
総合学科

回答者数：283



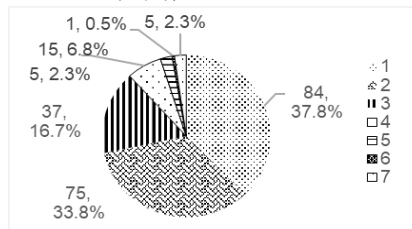
全日制

回答者数：3,146



定時制・通信制

回答者数：222



質問7-2 (2) 質問7-2で「① 全くしない」と答えた人にお尋ねします。その理由を答えてください。

- ・部活で疲れて寝るが、ほぼ休日毎日親に無理矢理一日中連れ出されるから / ・部活動に専念したいから
- ・普段は部活をしていて遊べないから、休日はあそんでいるため / ・部活の疲れを回復するため
- ・部活動が夜遅くまでである為、勉強をする時間がない / ・部活で帰りが遅く疲れも溜まっているため
- ・部活があり疲れてできない時があるから / ・土曜日も部活。日曜日もうつくりしたい
- ・部活で忙しいから、やる気が出ないから / ・部活から帰ってきて疲れているから
- ・部活動があり眠たいから / ・部活で疲れて寝てしまう / ・土曜日と日曜日が部活だから
- ・部活動と家事が忙しい / ・部活が忙しいから / ・部活でつかれる / ・部活ばかりでする暇がない
- ・部活で時間がない / ・部活が忙しいから / ・部活があるから / ・部活とかぶる / ・部活忙しい

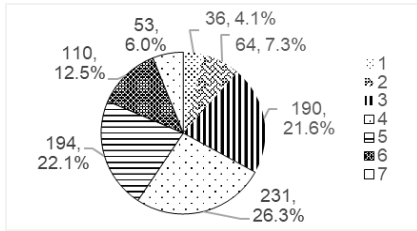
- ・自学自習というのものもあるからなのか、提出物以外は全く何もしません
  - ・週末課題があり、それで十分だと思っているから / ・特に勉強しなくても、ついていけるから
  - ・授業だけでもテストでいい点数が取れるから / ・しなくても授業のレベルに追いつけるから
  - ・やっても忘れてしまうから、テスト期間にやるべきだと考えているから
  - ・えっと、、、テストがなかったら勉強しない / ・テストの10日前に勉強すれば点数とれるから
  - ・テストの3日前で十分だから / ・テスト期間だけでえっかと思ってしまう
  - ・テスト期間じゃないからです / ・テスト前以外あんまりしない / ・テスト期間じゃないから
  - ・テストの時しかしない / ・テスト週間に頑張る / ・学校だけで充分 / ・宿題がないから
  - ・頭がいいから / ・授業が簡単
- ・中学校の頃の癖が治ってなくてやろうと思ってもなかなか出来ないから
  - ・面倒臭いし、勉強が必要ならばちゃんと授業で間に合わせるから / ・一週間の疲れでだらけてしまうから
  - ・する気がない。そろそろする / ・やる気が出ないし忙しいから / ・やる気が余りでないから
  - ・やろうとしていないから / ・やる気がおきないから / ・だらけてしまうから / ・疲れているから
  - ・起きたら月曜日 / ・しんどいから / ・眠いから 勉強が面倒くさい /
- ・私はもともと勉強に真面目に取り組むことが得意ではなく、休日という休んでもよい状況があると勉強を頑張ろうという気になれないからです
  - ・勉強が苦手だから / ・勉強がきらいだから / ・嫌だから
- ・まずしようと思わないし、バイトや趣味もあるため時間を割くのがむずかしい
  - ・休日に用事を詰め込んだり、子供と遊ぶ、家事を手伝うなど / ・家の手伝いなど他のことをしているから
  - ・家のことが忙しく、妹たちがいるから / ・家の用事で勉強する時間がとれない / ・家で忙しい
  - ・家事や買い出しで時間が無い / ・家でゆっくり過ごしている / ・家族と過ごしていることが多い
  - ・家にいないから / ・勉強するくらいならゲームでレベル上げをしたい / ・スマホを触っているから
  - ・スマホやゲームをしてしまうから / ・ゲームしてるから
  - ・勉強以外のことをしてしまう / ・他にしたいことがあるから 趣味に時間を当てたい
  - ・運動してる。出かけている / ・他にやることがあるから あんま時間がないから
  - ・塾に行っているから / ・絵の塾に行っている
  - ・バイトがあるのと、やる気が出ない。授業が簡単 / ・ボランティアや、バイトをしているから
  - ・バイトで忙しい 疲れてする気が出ない / ・バイトとか遊びに行ったりしてるから / ・バイトで時間がない
  - ・体を休めたいから / ・予定を入れてしまう / ・仕事があるから / ・時間が無いから / ・遊びたい
  - ・寝たいから / ・デート
- ・やりたいことや目指すことがないので、何をしたら良いかわからない
  - ・何を勉強するべきか迷っている。目標が決まっていない
  - ・何をすれば良いかわからない
  - ・勉強の仕方がわからない
- ・休日は、しっかりと体を休めることと家事で一日が終わってしまうから
  - ・休日でも習い事で県外に行くことが多いので勉強する時間が無い
  - ・休みの日にも勉強なんて勘弁してほしいから
  - ・せっかくの休みの日を勉強でつぶしたくない
  - ・土日は自分のしたいことをしたいから / ・休みは、休みたいと言う気持ちがある
  - ・休日ぐらいい勉強から離れたいから / ・休みは、さすがに娯楽を楽しみたい
  - ・休日に勉強する気になれないから / ・休日は娯楽に回りたいから / ・休日はゆっくりしたいから
  - ・ゆっくり休みたいから / ・休日ぐらいいやすみたい / ・休日がない
- ・する時もあるけどたまにしかない
  - ・勉強できる環境がないから
  - ・なんとなく

【回答結果から】

- 「1 全くしない」と回答した割合は平日よりも増え、全回答者の4人に1人程度（23.1%）となっており、しており、学科別では普通科で、課程別では全日制で、その割合が全体よりも少なくなっています。
- 大学等への進学者が多い普通科では「4 2～3時間未満」が最多、就職者が多い普通科では「1 全くしない」が最多となっています。

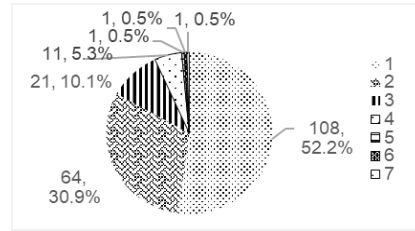
大学等への進学者が多い普通科

回答者数：878



就職者が多い普通科

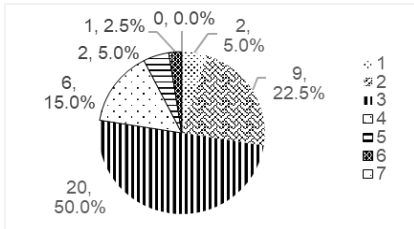
回答者数：207



- 職業学科において、「1 全くしない」と回答した割合が全体（23.1%）よりも少なかったのは、看護、商業、情報に関する学科でした。

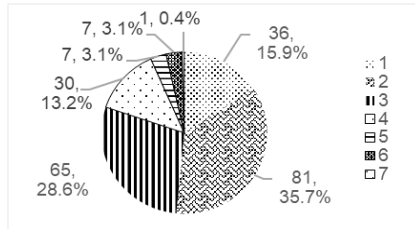
看護に関する学科

回答者数：40



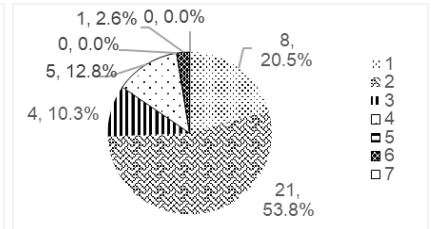
商業に関する学科

回答者数：227



情報に関する学科

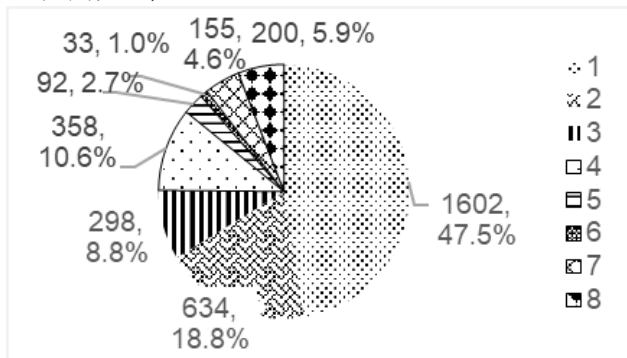
回答者数：39



質問8 あなたは普段、学校の授業時間以外に、一日あたり平均でどれくらいの時間、読書をしますか。最も近いものを教えてください。(選べるのは1つだけです)

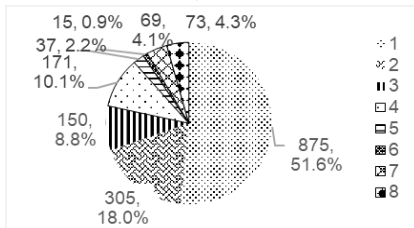
- 1 全くしない
- 2 10分程度
- 3 20分程度
- 4 30分程度
- 5 40分程度
- 6 50分程度
- 7 1時間程度
- 8 1時間以上

全体 回答者数：3,372



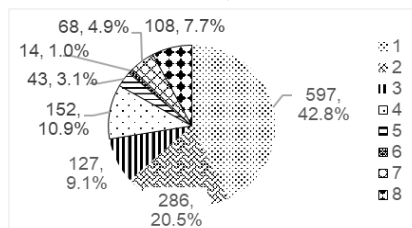
普通科、普通科系専門学科

回答者数：1,695



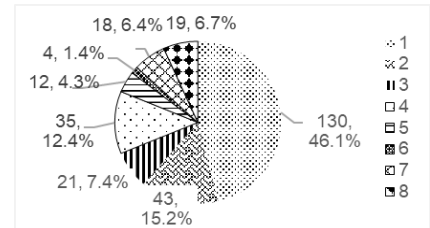
職業系専門学科

回答者数：1,395



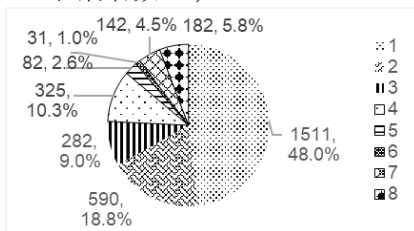
総合学科

回答者数：282



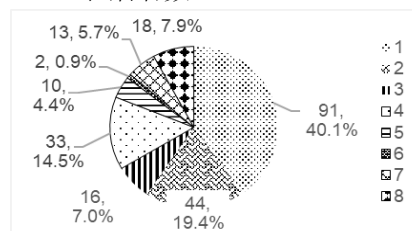
全日制

回答者数：3,145



定時制・通信制

回答者数：227



質問8-2 質問8で「① 全くしない」と答えた人にお尋ねします。その理由を教えてください。

- ・平日はその日の課題をするだけで夜中を回ってしまうし、休日は平日にしたいけどできない他のことに時間を回してしまうから
- ・中学生の頃は読書をする時間があつたので好きな小説家の小説を読んでいましたが、高校になって通学や部活動に時間がかかり、ゆっくりと読書を楽しめる時間が無くなってしまったからです
- ・読むきっかけや、時間がない。休み時間に読むことも可能だが友達と喋りたいから読んでいない
- ・7限授業の日が多く、部活もあるので、家に帰った時にやる時間が限られているから
- ・読書をしたいが、疲れていたり課題に追われて読む気力がなくなってしまっているから

- ・読書する時間より友達と通話してる時間が長くて読書してる時間がないからです
- ・学校や部活があり家も遠いので読もうと思っても疲れて寝てしまうから
- ・部活の終わる時間が遅くて帰ってから読む時間がないため / ・ゆっくり読書する時間が取れないから

- ・本を読まないというわけではないが、興味のあるものや気が向いた時しかよまないから
- ・自分の趣味に関する本を買ったりするが、自分から本を読むほど興味がない
- ・本読むなら動画みた方がわかりやすいし、読むのめんどくさいから
- ・本を読むよりドラマを見るほうが面白いから
- ・静かにいるのも、本を読むのも苦手だから
- ・本を読むのが嫌い。集中できない
- ・文字を読むのが好きではないから
- ・読書の他に違う物に興味を持っているから
- ・忘れていた、読書の楽しさをまだ知らない
- ・読みたいと思うことがないから / ・読もうというきがおこらないから
- ・読書に興味がないからです
- ・興味を持てる本になかなか出会えないから
- ・読んで途中で飽きてしまう
- ・誰かに勧められない限りその辺の本が面白いかどうかわからないから
- ・漫画しか読まない

- ・すごく読書はしたいが時間がない。落ち着いて読書できる場所がない。図書館に興味のある本がない
- ・読みたいと思える本がなくなったから / ・読みたい本の最新刊がリリースされていない
- ・面白い本がないから。買いに行くのがめんどくさい、遠い

- ・自分は勉強することでいっぱいいっぱいだから。それに、読書をするよりは勉強をすることのほうが大切だと思うし、1度読書をしたすと何時間も読み続けてしまうことがあるから
- ・読むとしたら、小説などの読みやすいものだけど、そういう本は、面白くて読み終わるまで勉強に手がつかなくなる
- ・中学生の時などは読んでいたが勉強などで忙しく、読む時間がないから
- ・本の内容が気になってしまい勉強などに集中出来なくなるから
- ・家庭での学習に時間をとられ読書する時間がないから
- ・勉強したいことが沢山あり、本を読むひまがない
- ・読書が好きだが勉強に時間をとられるから / ・勉強をしていて読めていない

- ・本を読む時間がない。ほかのことをしている
- ・他のしたいことがあるから本を読む時間が無い
- ・自分のやりたいことをしたいから
- ・他にやりたいことがあって、なかなか本を読めていないから。読みたいという気持ちはある
- ・スマホを見る時間が多い、そして本があっても読みたいと思わないから
- ・本は引っ越しの時に捨てたのと、基本スマホで漫画を読んでいるから
- ・読書をするよりも携帯を触っていたいから
- ・読書よりも、スマホのほうがいいから / ・テレビゲームなどをしている

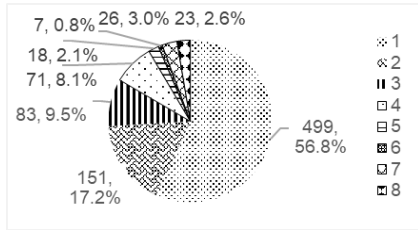
- ・小説などを読んでいるときに、文章を読んで次の文章を読むときに前の文章を忘れてしまって話しがつながらないからです
- ・中学校の時のように、読書の時間が無くなったから
- ・本を買うのにお金がかかる。たまに漫画を読む
- ・かん字がよみませんからです

【回答結果から】

- 全回答者の約半数（47.5%）が「1（読書を）全くしない」と回答しており、学科別では職業学科で、課程別では定時制・通信制で、その割合が全体よりも少なくなっています。
- 大学等への進学者が多い普通科では56.8%、就職者が多い普通科では51.2%の生徒が「1 全くしない」と回答しています。

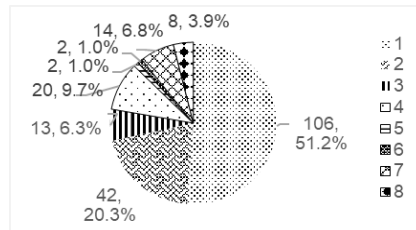
大学等への進学者が多い普通科

回答者数：878



就職者が多い普通科

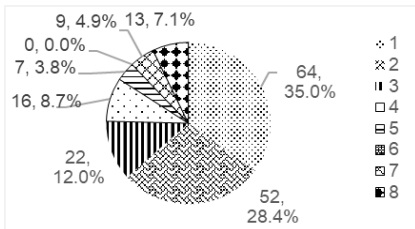
回答者数：207



- 職業学科において、「1 全くしない」と回答した割合が全体（47.5%）よりも少なかったのは、家庭、福祉、農業に関する学科でした。

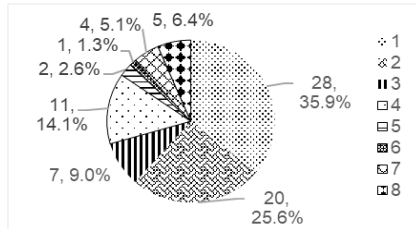
家庭に関する学科

回答者数：183



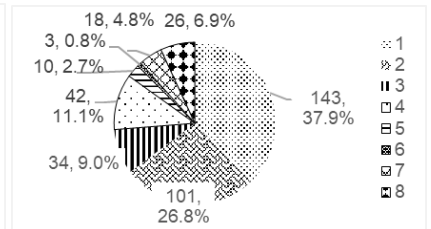
福祉に関する学科

回答者数：78



農業に関する学科

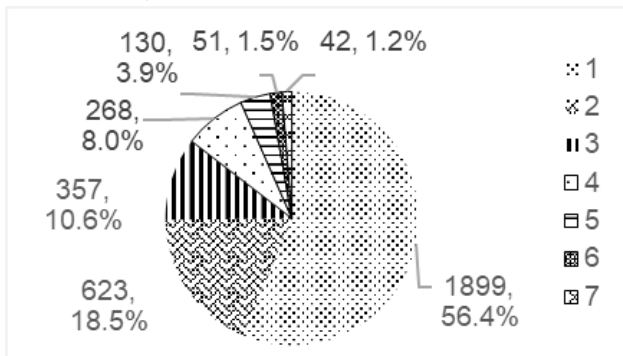
回答者数：377



質問9 あなたは普段、学校の図書館をどれくらい利用しますか。最も近いものを教えてください。(選べるのは1つだけです)

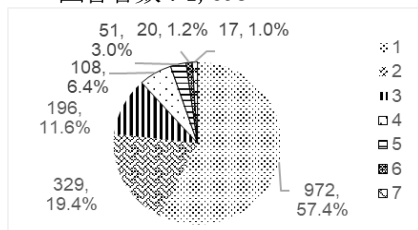
- 1 全く利用しない
- 2 年に1～2回程度
- 3 学期に1～2回程度
- 4 月に1～2回程度
- 5 週に1～2回程度
- 6 週に3～4回程度
- 7 ほぼ毎日

全体 回答者数：3,370



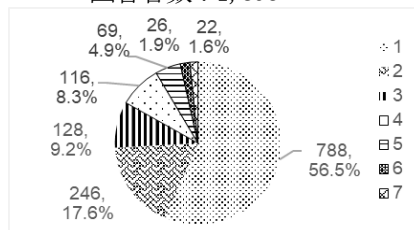
普通科、普通科系専門学科

回答者数：1,693



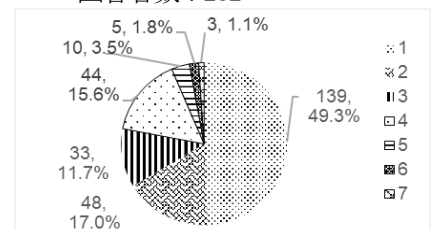
職業系専門学科

回答者数：1,395



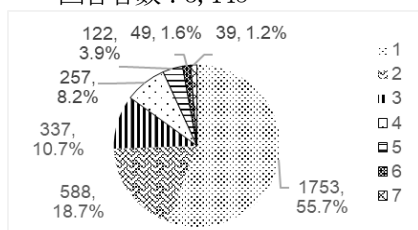
総合学科

回答者数：282



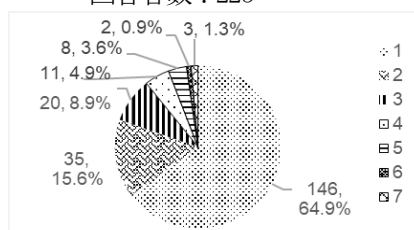
全日制

回答者数：3,145



定時制・通信制

回答者数：225



質問9-2 質問9で「① 全く利用しない」と答えた人にお尋ねします。その理由を教えてください。

- ・平日はその日の課題をするだけで夜中を回ってしまうし、休日は平日にしたいけどできない他のことに時間を回してしまうから
- ・昼休みや放課後に図書室へ行けるほど時間がないからです。行ってみたいという気持ちはあります
- ・行こうとはするが、時間がなかったりほかにするべきことがあるのでなかなか難しい
- ・休み時間は短くて行けない、放課後は部活があって行けないから
- ・休み時間が短いから移動も面倒なので友達と話す方が楽だから
- ・昼休みは、みんなとコミュニケーションをとりたいたいから / ・部活などであまり図書館に行く時間がないから
- ・部活動などで行く時間がない / ・行く時間もないし行こうとも思わないから

- ・自分がいる棟から一番遠いところにあるし、時間がないから
- ・校舎が離れている上、放課後は家に帰りたくなるから
- ・教室から図書室までの距離が遠くて移動がしづらいから
- ・少し遠いので行こうという気になれないから / ・教室から遠い。活気付いたイメージも無い
- ・教室から遠くにあるうえ部活が忙しい / ・学校の図書館が教室から遠い
- ・学校の図書館の場所がわからないのと、利用の仕方がわからない / ・図書館の場所を知らない
- ・Because I don't know where.

- ・図書館に何の本があるとかいつ空いているかわからない、あまり行く気になれない
- ・行くことがない。一人じゃ行きにくい。本は図書館じゃなくても読むことができるから
- ・図書館に行かなくても本が読めるし自分の部屋で読んだほうが集中できるから
- ・図書室まで行くのが面倒だと思ってしまう。行ってまで本を読もうと思わない
- ・市の図書館を利用しているため、わざわざ学校で借りる必要がないから
- ・そこまでして本を好きになれない、動くのがめんどくさいため
- ・読みたい本は自分で持参しているので来る必要はないからです
- ・読みたい本は家から持ってくるので特に用事がないから
- ・家に読みたいものがしっかりあるので、そっちを見ているからです
- ・家にあるので充分だから
- ・学校の図書館ではなく、地域の図書館を利用するから
- ・本が好きではなく、行く意味があまり感じられないから
- ・行く余裕がない。これとって見たいと思う本がない
- ・学校の図書館にはそれほど興味のわく本がないから
- ・行くのがめんどくさい。好きな本が置いていない
- ・読みたいものが特にないから
- ・読むことがあんまり好きではないから
- ・家にあるので充分だから
- ・I was shy to read.

- ・本探しに図書館行って「あひゃ、なかった〜」ってなるくらいなら本屋行って買った方が良いつていうのもあるし、個人的に読んだ本は自分で持ってきたいから
- ・図書館で借りてしまうと期間があって全て読み切るのに何度も期間の延長をしなければならぬけれど、買うといつでも何度も読み返しができるから
- ・自分で本を持っている。古本屋で探して買ったなら返却期限を気にしなくていいから
- ・学校で借りるよりも本屋で買ったほうが種類も多いし、いつでも読み返せるから
- ・読みたい本は手元に置いておきたいので、図書室では借りたくない

- ・調べたいものはChromebookで調べられるから
- ・webサイトに載っている小説を読んでいるから
- ・スマホで見れるので、図書館に行く必要がない / ・家に本があるし、スマホで見れるから
- ・スマホアプリで読んでいるから / ・ネットの小説で満足している

- ・少し潔癖症で図書館で本を借りることに少し抵抗があるから
- ・中古本や誰かが一回読んだ本を読むのは嫌だから
- ・今はコロナ対策で行っていません

- ・自分の家で読書をするのと落ち着くからです。学校の図書館だといろいろな人の目を気にしたり、集中できなくなるからです
- ・図書館より家のほうが自分的には集中できるから利用しません
- ・17時にしまってしまう。自習室が好き
- ・夜だから（昼間しか開館していないから）

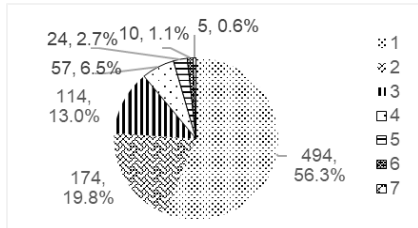


【回答結果から】

- 全回答者の半数以上 (56.4%) が「1 全く利用しない」と回答しており、学科別では総合学科で、課程別では全日制で、その割合が全体よりも少なくなっています。
- 大学等への進学者が多い普通科では 56.3%、就職者が多い普通科では 63.3%の生徒が「1 全く利用しない」と回答しています。

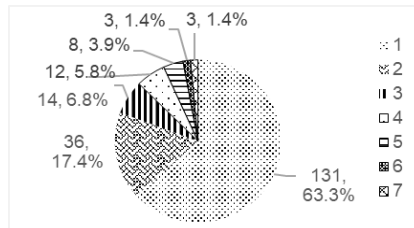
大学等への進学者が多い普通科

回答者数：878



就職者が多い普通科

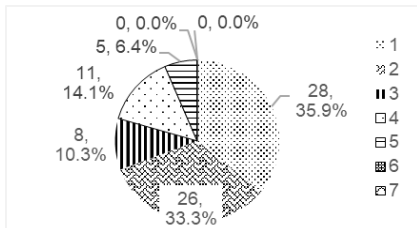
回答者数：207



- 職業学科において、「1 全く利用しない」と回答した割合が全体 (56.4%) よりも少なかったのは、福祉、家庭、商業に関する学科でした。

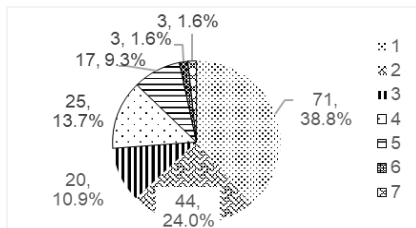
福祉に関する学科

回答者数：78



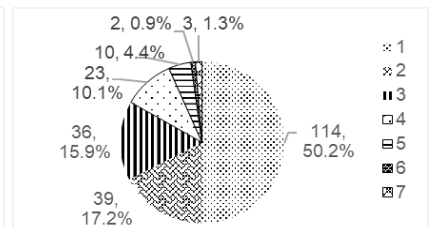
家庭に関する学科

回答者数：183



商業に関する学科

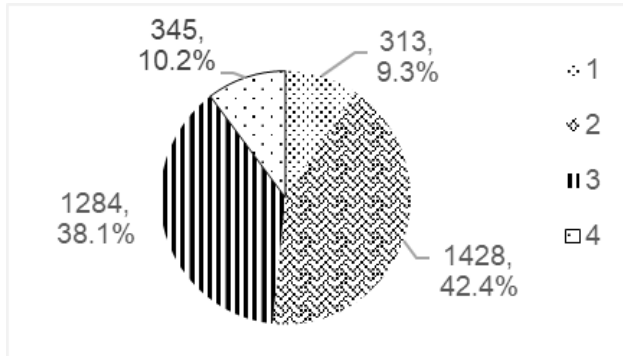
回答者数：227



質問 10 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。(選べるのは1つだけです)

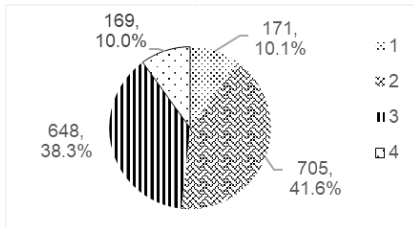
- 1 考えることがよくある
- 2 考えることがときどきある
- 3 考えることはあまりない
- 4 考えることはない

**全体** 回答者数：3,370



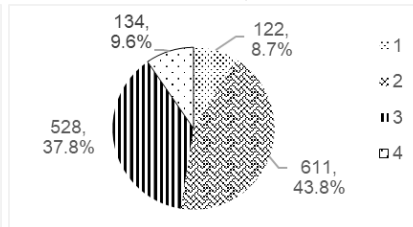
**普通科、普通科系専門学科**

回答者数：1,693



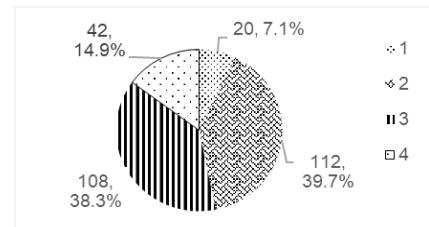
**職業系専門学科**

回答者数：1,395



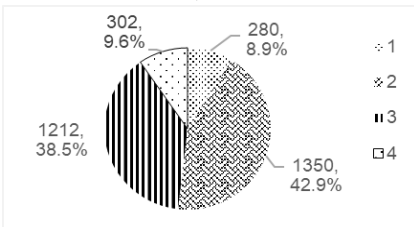
**総合学科**

回答者数：282



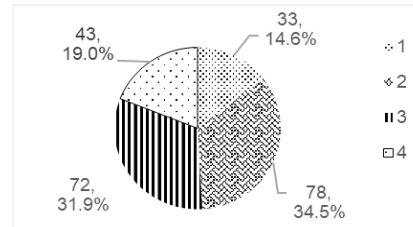
**全日制**

回答者数：3,144



**定時制・通信制**

回答者数：226

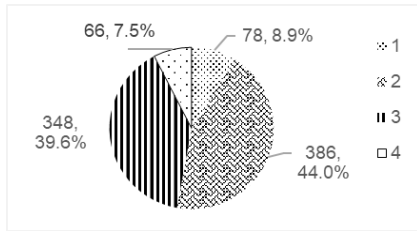


【回答結果から】

- 全体では、51.7%の生徒が「1 考えることがよくある」または「2 考えることがときどきある」と回答しました。
- 学科別では、普通科で51.7%、職業学科で52.5%、総合学科で46.8%の生徒が「1 考えることがよくある」または「2 考えることがときどきある」と回答しました。
- 大学等への進学者が多い普通科では52.9%の生徒が、就職者が多い普通科では46.1%の生徒が、それぞれ「1 考えることがよくある」または「2 考えることがときどきある」と回答しました。

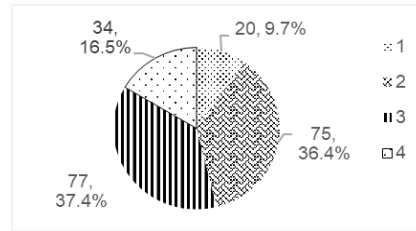
大学等への進学者が多い普通科

回答者数：878



就職者が多い普通科

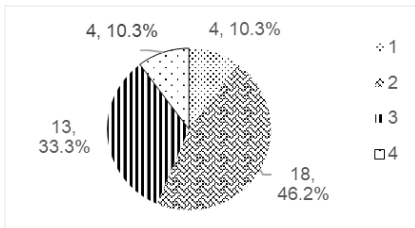
回答者数：206



- 職業学科のうち、情報に関する学科では56.5%の生徒が、農業に関する学科では54.1%の生徒が、商業に関する学科では53.7%の生徒が、それぞれ「1 考えることがよくある」または「2 考えることがときどきある」と回答しました。

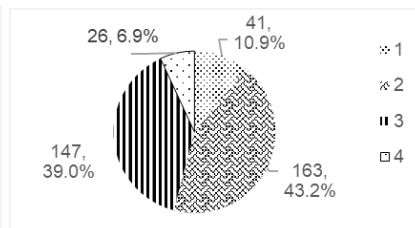
情報に関する学科

回答者数：39



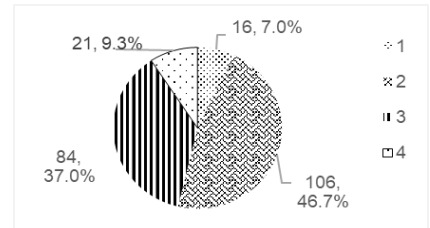
農業に関する学科

回答者数：377



商業に関する学科

回答者数：227

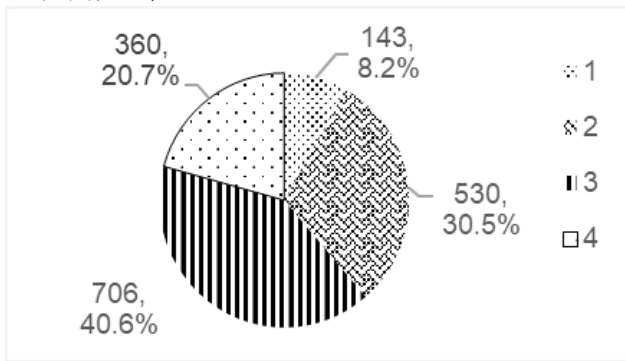


- 課程別では、全日制では51.8%の生徒が、定時制・通信制では49.1%の生徒が、それぞれ「1 考えることがよくある」または「2 考えることがときどきある」と回答しました。

質問 10-2 質問 10 で「① 考えることがよくある」「② 考えることがときどきある」と答えた人にお尋ねします。地域の行事やボランティア活動など、地域や社会をよくすることにつながる活動をしていますか。  
(選べるのは1つだけです)

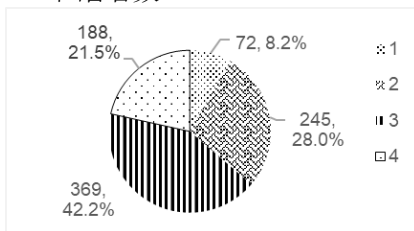
- 1 活動している
- 2 活動することがときどきある
- 3 活動することはあまりない
- 4 活動していない

**全体** 回答者数：1,739



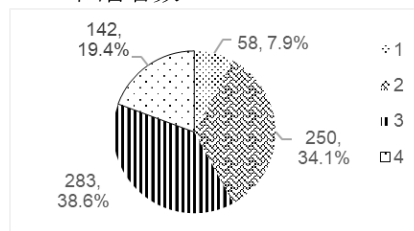
**普通科、普通科系専門学科**

回答者数：874



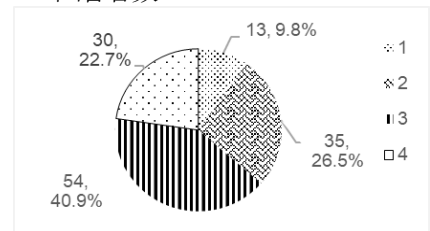
**職業系専門学科**

回答者数：733



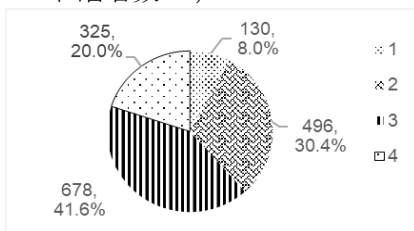
**総合学科**

回答者数：132



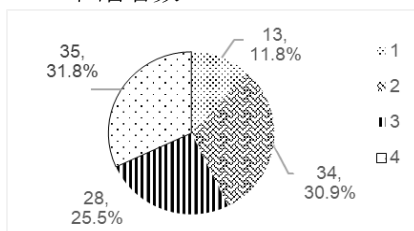
**全日制**

回答者数：1,629



**定時制・通信制**

回答者数：110

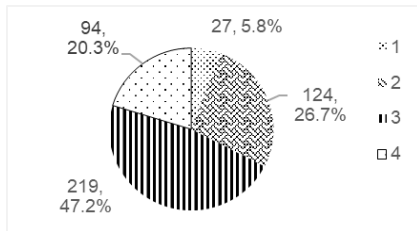


【回答結果から】

- 全体では、38.7%の生徒が「1 活動している」または「2 活動することがときどきある」と回答しました。回答者全体に占める割合としては、20.0%となります。
- 学科別では、普通科で36.2%（回答者全体の18.7%）、職業学科で42.0%（回答者全体の22.1%）、総合学科で36.3%（回答者全体の17.0%）の生徒が「1 活動している」または「2 活動することがときどきある」と回答しました。
- 大学等への進学者が多い普通科では32.5%（回答者全体の17.2%）の生徒が、就職者が多い普通科では46.8%（回答者全体の21.4%）の生徒が、それぞれ「1 活動している」または「2 活動することがときどきある」と回答しました。

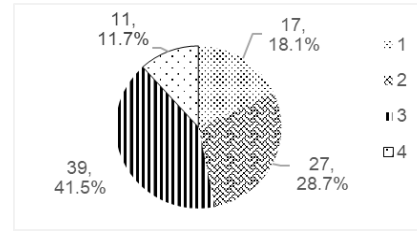
大学等への進学者が多い普通科

回答者数：464



就職者が多い普通科

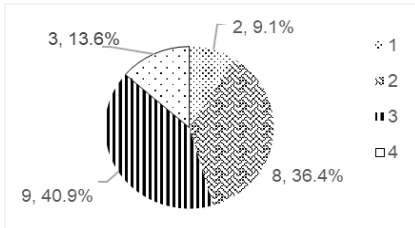
回答者数：94



- 職業学科のうち、情報に関する学科では45.5%（回答者全体の25.6%）の生徒が、農業に関する学科では44.6%（回答者全体の24.1%）の生徒が、看護に関する学科では42.9%（回答者全体の22.5%）の生徒が、それぞれ「1 活動している」または「2 活動することがときどきある」と回答しました。

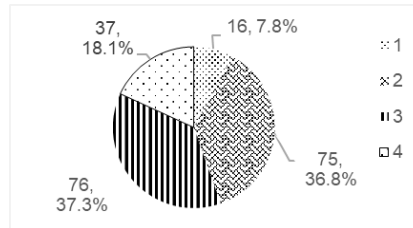
情報に関する学科

回答者数：22



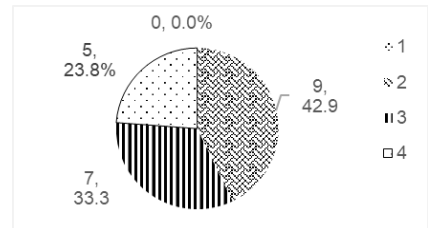
農業に関する学科

回答者数：204



看護に関する学科

回答者数：21

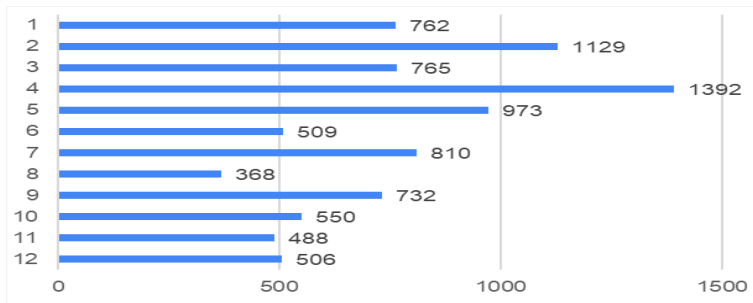


- 課程別では、全日制では38.4%（回答者全体の19.9%）の生徒が、定時制・通信制では42.7%（回答者全体の20.8%）の生徒が、それぞれ「1 活動している」または「2 活動することがときどきある」と回答しました。

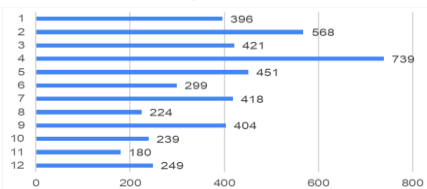
質問 11 次のうち、これからの時代に向けて高校時代に身につけておくことが必要だと思うものはどれですか。  
(3つまで選べます)

- 1 各教科の学習内容
- 2 ものごとに進んで取り組む力
- 3 違う年齢や異なる文化の人と積極的に関わる力
- 4 目標を立てて実行する力
- 5 失敗してもくじけずに取り組み続ける力
- 6 現状から課題を見つけ出す力
- 7 計画する力
- 8 新たな価値を創り出す力
- 9 わかりやすく伝える力
- 10 相手の意見を丁寧に聴く力
- 11 規則や約束を守る力
- 12 AI (人工知能) や VR (仮想現実) など先端技術を使いこなす力

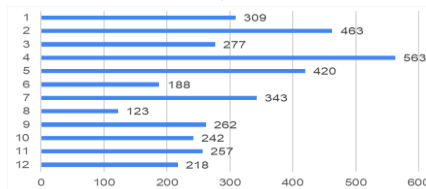
全体 回答者数 : 3,373



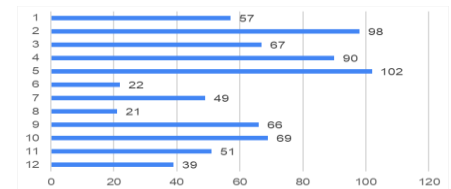
普通科、普通科系専門学科  
回答者数 : 1,695



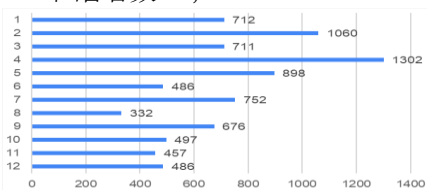
職業系専門学科  
回答者数 : 1,395



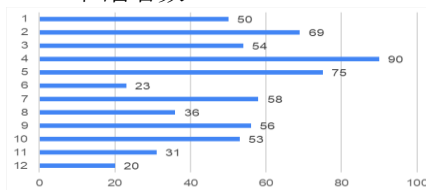
総合学科  
回答者数 : 283



全日制  
回答者数 : 3,146



定時制・通信制  
回答者数 : 227



《その他 (自由記述)》の主な回答

- ・ AI (人工知能) や VR (仮想現実) など先端技術をこえることのできる力
- ・ AI などの先端技術に頼らずに考えを試行錯誤する力 / ・ AI やロボットにできないことをする力
- ・ AI やロボットに頼りきらずに自分で考えれる力 / ・ 旧態依然の考えを凌駕することのできる力
- ・ 答えのない問いに立ち向かい自分の考えを持ちそれを周りと共有し積極的に行動する力
- ・ 人情や、努力が導く限りない答えを自分らしく見つける力
- ・ 臨機応変に対応できる力 / ・ 何事にも挑戦する力 / ・ 常に先のことを考えて行動すること。
- ・ 自分で考えて行動する力 / ・ 自己を高め続ける力 / ・ 努力する力
- ・ 物事の本質を考える力 / ・ 課題を解決する力 / ・ 考える力 / ・ 教養

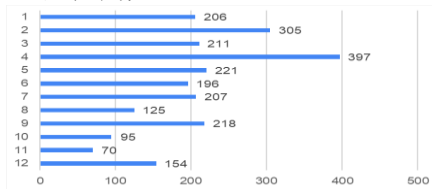
- ・人間関係の構築 / ・人との関わり方 / ・人との関わりを持ち方 / ・他人と協力し助け合う
- ・周りの意見に押し流されるのではなく、自分の意見に自信を持ち、きちんと主張する力
- ・自分の意見をはっきりと示していける力 / ・自分から発信する力 / ・発言力
- ・タイピングを速くすること、英語力を身につけること / ・税金、法律のこと / ・電気に関する技術
- ・資格取得 / ・技術向上 / ・学歴
- ・社会に出たときに必要な最低限度の常識 / ・社会の常識を身につける
- ・ネットをつかうのをやめる（理由いじめが多い） / ・時間の使い方 / ・全能性 / ・礼儀

【回答結果から】

- 全体では、「4 目標を立てて実行する力」が最多で、「2 ものごとに進んで取り組む力」がそれに続いています。
- 学科別では、普通科と職業学科で「4 目標を立てて実行する力」が最多、総合学科では「5 失敗してもくじけずに取り組み続ける力」と「2 ものごとに進んで取り組む力」への回答が多くなっています。
- 大学等への進学者が多い普通科では「4 目標を立てて実行する力」が最多、就職者が多い普通科では「4 目標を立てて実行する力」と「5 失敗してもくじけずに取り組み続ける力」への回答が多くなっています。

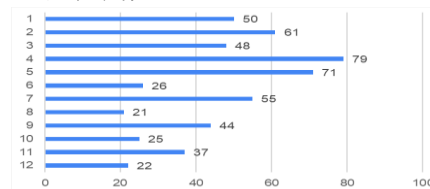
大学等への進学者が多い普通科

回答者数：878



就職者が多い普通科

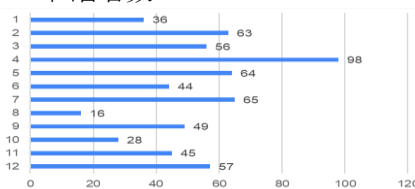
回答者数：207



- 職業学科のうち、工業、商業、水産、家庭、情報、福祉に関する学科では「4 目標を立てて実行する力」が、農業に関する学科では「2 ものごとに進んで取り組む力」が、看護に関する学科では「5 失敗してもくじけずに取り組み続ける力」が、それぞれ最多となっています。

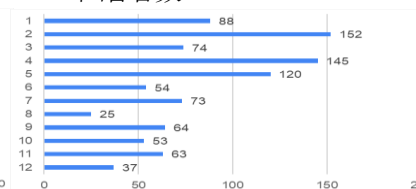
商業に関する学科

回答者数：227



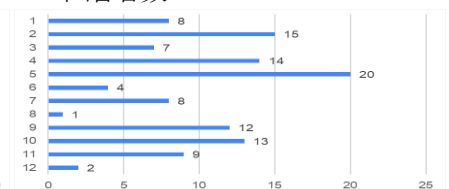
農業に関する学科

回答者数：377



看護に関する学科

回答者数：40

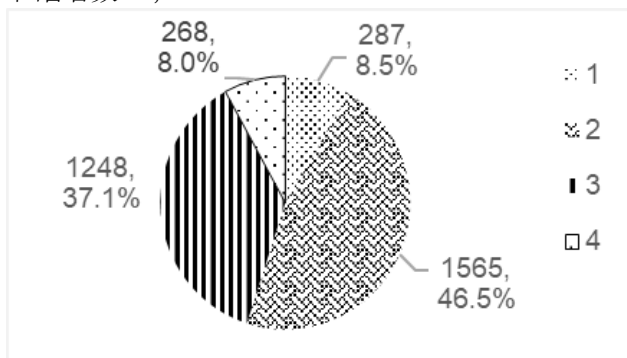


- 課程別では、全日制、定時制・通信制ともに「4 目標を立てて実行する力」が最多となっています。

質問12 質問11で選んだ項目について、あなた自身は、それらを身につけることができていると思いますか。  
(選べるのは1つだけです)

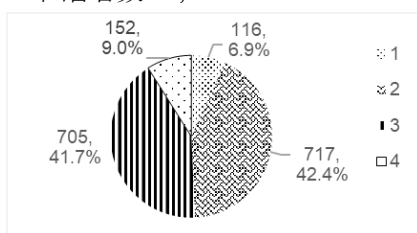
- 1 できていると思う
- 2 どちらかといえばできていると思う
- 3 どちらかといえばできていると思わない
- 4 できていると思わない

**全体** 回答者数：3,368



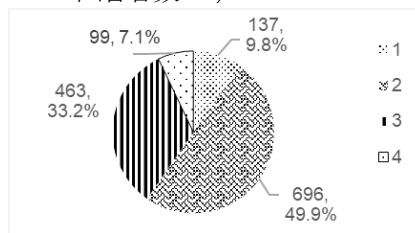
**普通科、普通科系専門学科**

回答者数：1,690



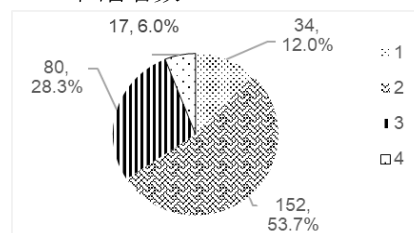
**職業系専門学科**

回答者数：1,395



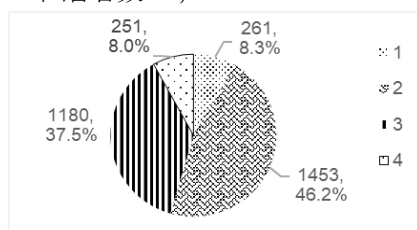
**総合学科**

回答者数：283



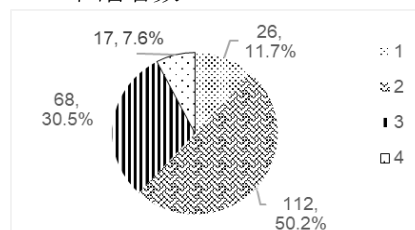
**全日制**

回答者数：3,145



**定時制・通信制**

回答者数：223



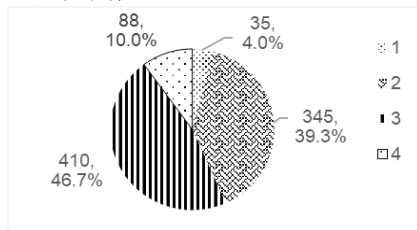


【回答結果から】

- 全体では、55.0%の生徒が「1 できていると思う」または「2 どちらかといえばできていると思う」と回答しました。
- 学科別では、普通科で49.3%、職業学科で59.7%、総合学科で65.7%の生徒が「1 できていると思う」または「2 どちらかといえばできていると思う」と回答しました。
- 大学等への進学者が多い普通科では43.3%の生徒が、就職者が多い普通科では59.3%の生徒が、それぞれ「1 できていると思う」または「2 どちらかといえばできていると思う」と回答しました。

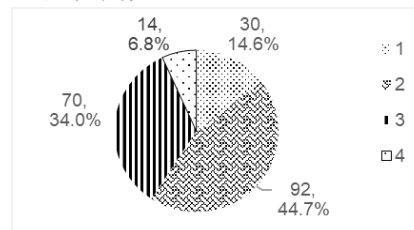
大学等への進学者が多い普通科

回答者数：878



就職者が多い普通科

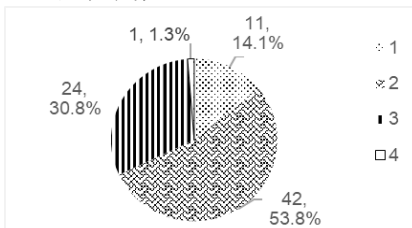
回答者数：206



- 職業学科のうち、福祉に関する学科では67.9%の生徒が、看護に関する学科では67.5%の生徒が、家庭に関する学科では65.5%の生徒が、それぞれ「1 できていると思う」または「2 どちらかといえばできていると思う」と回答しました。

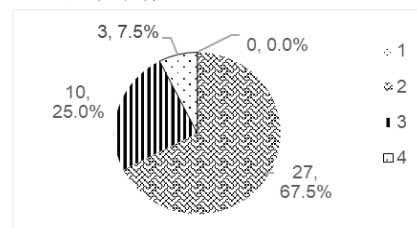
福祉に関する学科

回答者数：78



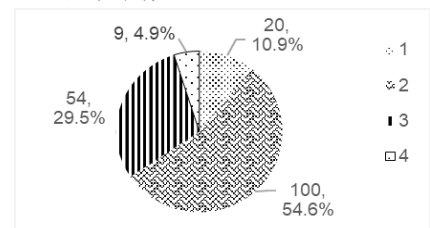
看護に関する学科

回答者数：40



家庭に関する学科

回答者数：183



- 課程別では、全日制では54.5%の生徒が、定時制・通信制では61.9%の生徒が、それぞれ「1 できていると思う」または「2 どちらかといえばできていると思う」と回答しました。

質問 13 学校だけではなく普段の生活も含めて、これから学びたいと思っていることや、興味・関心を持っていることについて、一言（一文）で表現してください。

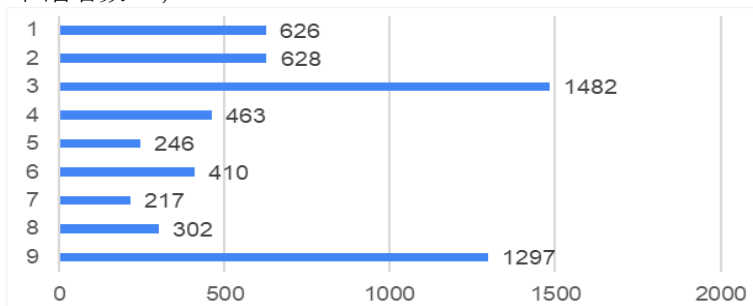
- ・ 看護師になるために必要な知識や技術を実習や学習を通して学ぶこと
- ・ 人にものを伝える力を身につけたい
- ・ これからはグローバル化が進んで行くので英語をもっと多く学びたい
- ・ 人類はこの先どうなるのか
- ・ まだまだ社会のことを良く理解できていないので理解していきたい
- ・ 自分が興味のあることを自分にしかできない長所に変える
- ・ 日本を男女平等な社会にするためには教育をどのように変えていけばいいか、地球の環境問題について、世界・日本で問題になっている差別問題についてなど日本や世界にある重大な問題やこれからの社会を生きていくにはどうしたらいいか学びたい
- ・ どうしたら夜遅くまで勉強しつつ朝きっちり起きれるのか
- ・ 自分の行きたい大学へ行くためへの科目の勉強についてこれからもっと勉強していきたい
- ・ 太平洋戦争のこと、あまりにもすくなくすぎるだからまちがった知識がまんえんしている
- ・ 周りを見て自分が今何をすべきなのか判断すること
- ・ 緑化活動やCO<sub>2</sub>削減について自分たちができることは何か、新たな方法は何かを見つけること
- ・ 相手の話をよく聞き、自分の意見をよく伝えられる表現力と国語力
- ・ 分からないことを何でも聞いたら調べたりする事
- ・ これから大人になっていくにつれて普段の勉強以外のことも学びたい
- ・ ロボットコミュニケイター・吉藤健太郎が経営するオリィ株式会社の遠隔操作型コミュニケーションロボット・OriHimeについて
- ・ 思っていることは、コミュニケーション力をアップして、何事もチャレンジしていくことのできる力をつけたいと思っています
- ・ 具体的にはわからないが、まんべんなく学びたいと思っています
- ・ 将来のために、進学や就職活動、社会のマナーなどについて学んでいきたいと思っています
- ・ 医療関係の仕事に興味があるため学んでみたいと思います
- ・ これからも料理のことをもっと学びたいと思いました
- ・ 色々な教科を少しでも覚えれるようにしたいと思ったからです
- ・ コミュニケーション能力
- ・ 昔から絵画を見るのが好きだから昔の人の考え方等を探ってみたい
- ・ 美容師のことについて
- ・ コンピューターのことについてもっと学びたいと思う
- ・ 部活動での楽器の演奏技術を聴きに行ける演奏会に行くこと
- ・ 英語の大学の内容を予習して、英検準1級に合格したい
- ・ もっと周りの人と上手いコミュニケーションをどうやったら取れるか興味がある
- ・ 高校を卒業後就職したいとき僕は、プログラマーになりたいと思っているので、プログラマーになるための資格試験を勉強していきたい
- ・ 私は日商簿記2級と情報処理1級を卒業までに必ず取得したいと思っています
- ・ 今学びたいと思っていることは音楽のことです。私は今デザインの勉強をしていますが、自分の将来音楽にも触れるとおもうので学んでみたいとおもっています
- ・ 高校を卒業してから一人で生きていけるようになるための実用的なことをもっとたくさん学びたい
- ・ 医療関係に携わりたいので、医療の勉強を自ら少しでもそれに向けて学んでいきたいです
- ・ お金の管理について学びたい
- ・ これからの人生に活かされる生産性の高い生活リズムを身につける
- ・ デザインや色に関係する資格を取りたい
- ・ instrument and Japanese lesson
- ・ 副業についてや安定した収入の確保等
- ・ 郷土・環境系列での学び
- ・ 調理の知識や栄養学について学びを深めたい
- ・ 心関係を学びたい、社会で働く人たちの人生を聞きたい

- ・ 戦時中の生活などの資料館について
- ・ 外国の人と思い通りにコミュニケーション取りたい
- ・ 製図についてもっと深く学んでいきたいです
- ・ 英語の知識や簿記などの資格取得
- ・ 何か資格を取りたいと思っている
- ・ 農業の今ある問題点と、その解決方法について
- ・ 地域の未来のこと
- ・ 社会で必要なことについて学びたい
- ・ 将来役に立つこと
- ・ 自分の地域のことなどを詳しく知っていききたい
- ・ 水槽の仕組みや魚に関すること
- ・ 大勢の人の前で自分の伝えたいことをはっきりプレゼンすること
- ・ 日本の文化を学び、日本人ともっと交流したいです
- ・ 手話や英語などいろいろな人と関わるために役に立つスキル
- ・ 美容師になるために必要な知識をたくさん学びたい
- ・ 大人になったとき、会社に入ったら必要なマナーや常識などを知っておきたい
- ・ 子供目線、大人目線を考えながら生活できる
- ・ 国外で活動できるようになるために英語、コミュニケーション能力を身につけていきたい
- ・ 今後役立つ事の授業をもっと欲しいと思っている unnecessaryな授業はいらないと思っている
- ・ あまり好きではない人との上手な関わり方
- ・ 今の仕事に役立つような知識を身につけたい
- ・ 地域の方やいろんな高校の人たちと交流

質問 14 今後、どのような形の授業を受けたいですか。(2つまで選べます)

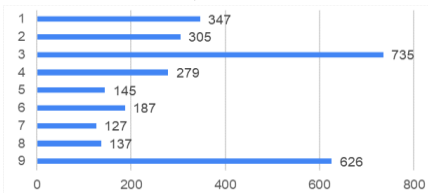
- 1 先生が一斉に説明する授業
- 2 自分で調べることを取り入れた授業
- 3 グループでの活動を取り入れた授業
- 4 テーマに沿って自由に議論する授業
- 5 いくつかの教科で学んだことを使って、課題の解決策を考える授業
- 6 学校外のいろいろな場所で調査をしたり、様々な立場の人に会って話を聞いたりする授業
- 7 考えたり調べたりしたことを、工夫して発表する授業
- 8 ほかの高校の生徒と一緒に、またはほかの高校の先生から、オンラインで受ける授業
- 9 タブレットなどを使って、理解できるまで繰り返し学習ができる授業

全体 回答者数：3,373



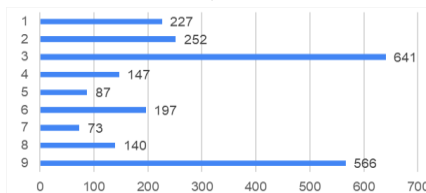
普通科、普通科系専門学科

回答者数：1,695



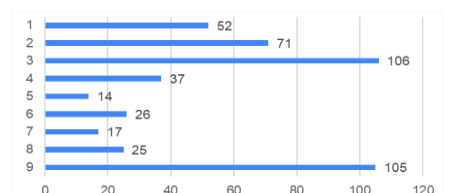
職業系専門学科

回答者数：1,395



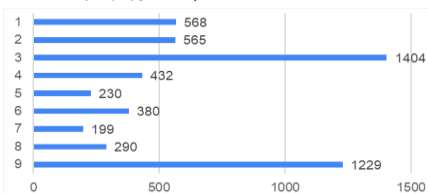
総合学科

回答者数：283



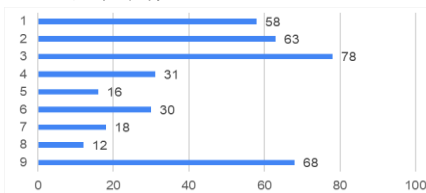
全日制

回答者数：3,146



定時制・通信制

回答者数：227



《その他（自由記述）》の主な回答

- ・自分で問題を解いたり、問題について考えたりしながら進んでいく授業
- ・先生にいつでも質問できる授業
- ・生徒がもっとしゃべれる学校
- ・それぞれの進度や分からないところに合わせて学べる授業
- ・自分のペースで進める授業
- ・振り返り復習
- ・アニメを見ながらする。アニメによって得られる知識も沢山あります
  
- ・オンライン授業

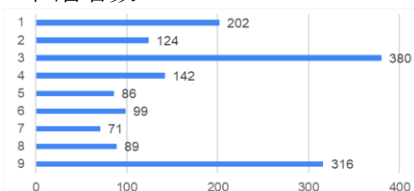
- ・ネイティブスピーカーの人と話す形の授業
- ・もっとネイティブの人と話せる授業
- ・多言語を学ぶ授業
  
- ・少数クラスにわかれて授業
- ・少人数授業
- ・個人個人に合わせた授業
  
- ・今まで通りタブレットなどは導入せずに先生の説明で受けたい
- ・発表がなく先生がずっと説明している授業 質問は授業外
- ・今のままでいいかも
- ・いつも通りの授業
  
- ・先生の雑談多めの授業(楽しいしそれの方が授業の内容を覚えれる気がする)
- ・授業の時間がもう少し短くなれば受けれるかもです
- ・てきとーにたのしく
- ・課外授業

【回答結果から】

- 全体、学科別、課程別いずれも、「3グループでの活動を取り入れた授業」が最多で、「9タブレットなどを使って、理解できるまで繰り返し学習ができる授業」がそれに続いています。
- 大学等への進学者が多い普通科では「3グループでの活動を取り入れた授業」が、就職者が多い普通科では「9タブレットなどを使って、理解できるまで繰り返し学習ができる授業」が、それぞれ最多となっています。

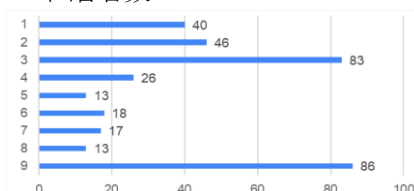
大学等への進学者が多い普通科

回答者数：878



就職者が多い普通科

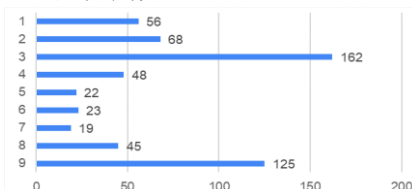
回答者数：207



- 職業学科のうち、農業、工業、商業、水産、情報、福祉に関する学科では「3グループでの活動を取り入れた授業」が、家庭および看護に関する学科では「9タブレットなどを使って、理解できるまで繰り返し学習ができる授業」が、それぞれ最多となっています。

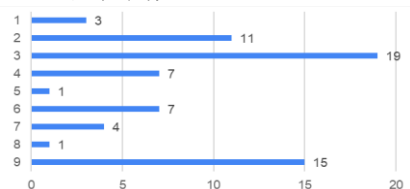
工業に関する学科

回答者数：347



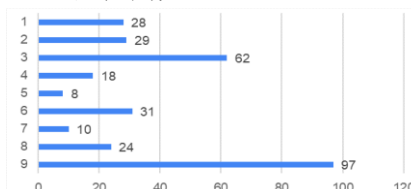
情報に関する学科

回答者数：39



家庭に関する学科

回答者数：183



質問 15 現在通っている高校をよりよくするためには、どんなことをしたらよいと思いますか。(学習に関する  
こと、学校生活に関する事など、自由に書いてください)

- ・ エレベーターなどが無いことで、骨折など重症をした場合階段の登り下りが大変。衛生看護科は後から合併したためしょうがないと言えしょうがないし、実習などレクチャールームなどが近いことは有難いが、普通科などと塔が離れているため関わりが少なすぎる
- ・ 授業をもっと楽しくすること
- ・ 始業時間を少し遅くする事で1限目から頭が良く働くようにする(ヨーロッパ等では導入されている)
- ・ 授業をわかりやすく、楽しくする
- ・ トイレを綺麗にする。実際にトイレが綺麗か汚いかだけでその学校に行きたいと思うのが変わるからです
- ・ チュータークラスの団結力をより深めるために、クラスで活動する時間をもっと増やすと良いと思う。ただ先生や他の子の話を聞く授業だけでなく、じっくりと問題に向き合える時間があると良いと思う
- ・ 高校には色々な先生がいるので、決まった先生だけでなく様々な先生の授業を受ける機会を作ってほしいです。
- ・ もう少し交流ができる機会を増やして欲しいし、分からない人が質問しやすいような例えば先生が教室を一周するなどして欲しい
- ・ 提出課題の期限について言うなら生徒がもっと家で学習できるように時間の管理を考えた方がいい
- ・ 同教科の先生間での教育方針を同じにしてほしい
- ・ みんなをルールをまもることし勉強にやりがいを持つ
- ・ 人との会話を多くするためにもっと授業でグループ活動を増やす
- ・ コロナで仕方がないとは思いますが、もっとグループワークをやってみたいです
- ・ 先生が解法をひたすら説明する授業ではなく、生徒に解かせる時間を設けて発表する授業にした方がいいと思う
- ・ もっと学習のレベルを上げたらいいと思う、教科書などを使う授業とか
- ・ 教師が授業に遅れてこないようにする
- ・ 科の違う生徒と触れ合う機会が少ないためソーシャルディスタンスを保った上での学年レクを増やす
- ・ コミュニケーション力をつけたり、遅刻とか欠席を減らしていけたら、よりよい学校になるんじゃないかと思いました
- ・ 例えば、あたたかみのある空気にしてみたり、壁紙をピンクにするとか
- ・ スカートを曲げられないように、ワンピースみたいにする
- ・ 宿題が多すぎるときがあり、寝不足の人が多数見られるので宿題の量をちゃんと考える
- ・ スマホを自由に使える、購買をつくる、エレベーターをつける、トイレを綺麗にする、机を大きくする、廊下にカーペット、体育館に冷暖房、全部屋床暖房、ジュース品数を増やす、屋上に行けるようにする、B塾を無くす、授業時間短縮、副教科はテストなし
- ・ だめなことはだめって厳しくしたらいいと思う。学習はもっとくわしく、分かりやすく教えてほしい
- ・ 服装に関する校則が、他の高校に比べて厳しすぎるので、他の高校と同じくらいにしてほしい
- ・ もっと楽しい授業にしたいです、そのためにはまずいろんな文化のことなど様々な世界のことを学ぶことや他国の人と会話することでよりのしい授業ができると思います
- ・ あたたかくする
- ・ いい学習環境を整える。生徒の勉強意識の改善。取り組み。先生がなぜ勉強するべきなのかということを生徒にしっかり説明したうえで授業をする。授業に熱を持つ
- ・ 中学校のときのように、グループワークを多く取り入れる。先生や友達、地域の人に会ったら自ら進んで挨拶をする
- ・ 土曜課外などの時間を有効に使い模試対策を徹底していく
- ・ 教室で勉強できるのは5時までなどという時間制限をなくしてほしいし、土日も学校で勉強できるようにしてほしい
- ・ ノートで授業を受けているところを電子機器にかえて勉強したほうが電子機器になれることができたり授業の忘れ物を減らすことができると思います
- ・ いつもの生活の中で、言葉が少々足りない部分があるとみています。相手が、みんながわかるような説明、文章をしっかりと意識するべきかと思っています
- ・ 不登校になっている人たちも一緒に学べるようにオンライン授業もあってもいいと思います
- ・ 文化祭がいつも質素で全体の雰囲気がつまらないのもう少し廊下側にも飾り付けをするとか、風船を使って工夫するだとかもう少し積極的に行っていってほしい

- 生徒にも進路先の情報が素早く得られるやうに、スマホや携帯電話を使用可能にするのはいかがでしょうか？
- 人の立場を考えて行動や発言ができる人が増えてほしい
- 課題の量を減らして自分で勉強したいものを勉強できる時間が確保できるようにする
- クラス会議をして今のクラスをどう思っているとか知ってみたいです
- To have more fun activities in every subjects.
- 違うクラスの人との関わる機会を増やす。
- 図書室に新しいデータの本を増やしていくこと
- せっかく同じ学校内に違う職種の生徒がいるのに、何も交流がなく他の科が何をしているのかも分からないというのはすごくもったいない。もっと交流を深めるべき
- さまざまな人と交流し地域の人とのかかわりを大切にする
- 必要最低限のことを先生は伝え、他の時間は自習にあてる
- 長期休暇の課題を減らし、自分がすべき勉強をする
- 先生がひたすら説明している事を聞くだけの授業では無く、挙手を求めて欲しいです
- オンライン化が進んでいる中でそれを活用して授業をしている先生もいるが学校内でスマホを使えないので、必要な時には使えるようにした方が良い。(自分で確認したい事があるときなど)
- 生徒の意見を集めて集会を開き、前向きに検討して頂く形を取って欲しいですね
- 様々な学校の改善点を生徒側も提案すること
- 全学年がもっと交流できる授業
- 皆が協力していじめや喧嘩がないように楽しく過ごせる学校にしたい！
- 人の気持ちを考えて行動する
- 国公立大学に行けるような学習能力をつけれるように授業のレベルを上げてほしい
- わかるまで教えてくれるようにする
- オンラインなどの情報機器を使った授業を増やしていくこと
- I want to improve my Japanese speaking and understanding skills.
- 一人ひとりの能力にあった勉強の仕方がその人が一番伸びると思います
- グループ活動をもっと増やせればいいと思う
- 仲良い人だけでなく沢山の人の人に関われるようになると良くなるんじゃないかと思います
- 各生徒が軽い自己紹介文を作成し生徒の前で先生に読んでもらう
- 自分一人で悩むことが多いから相談できる時間がほしい
- 基本的なことをしっかりとこなし、非常識な礼儀のな行動をせず、いけないことはいけないと人にはっきり言う
- タブレットなどを取り入れてみる
- 一人ひとりが意識を高く生活する
- そうじをちゃんとする。現代の文化にあったものを使う (タブレットなど)

質問 16 これからの社会には、どんな高校があったらいいと思いますか。(自由に書いてください)

- ・ 看護師が不足しているので看護科がある高校を増やしたらいいと思う
- ・ いろんな人と関われる高校
- ・ 大学形式で取りたい授業が選択できる、効率よく休憩する事(仮眠)で集中力をあげられる高校
- ・ AI に対抗できる考えを身に着けられる高校
- ・ 社会人になって本当に必要なことを教えてくれる高校。礼儀や敬語など
- ・ 将来の夢に向けての勉強ができる高校
- ・ 決められたルールに従うだけでなく生徒たちが主体となって自分たちに必要なルールを決められる高校。先生と生徒が対等になってお互いがお互いから学べる高校。パソコンなどの ICT 機器を使う授業を積極的にする高校。地域の方々との交流を大切にする高校。講演会をする高校
- ・ ホグワーツ魔法魔術学校みたいな厳しい時と緩い時がハッキリしていて学校生活を通して生き方とか社会性とかも学べるそんな学校が増えるといい。生徒と先生が同じ人間として先生が生徒を支配するんじゃなくて対等に扱われる学校
- ・ 副教科を減らして数学や英語をメインに授業する学校
- ・ 質の良さを大事にする高校、生徒の事をちゃんと理解して考えてくれる学校。校則が厳しすぎない学校
- ・ 差別などをしない、皆がやりたい、学びたいと思える学校
- ・ 自分に合った勉強の仕方での勉強できる高校
- ・ これからの社会に地球環境は、考えていかなければならないので環境について学べる高校があったらいいと思います
- ・ これから出てくるような新しい職業の技術を学べる高校
- ・ 上手くコミュニケーションが取れない子がうまく取れるような高校
- ・ 海外留学を目的とした学校、pc を使った編集技術を磨く高校、カスタムの学力がすべての学校
- ・ 多様性のある学校。LGBTQ の方も増えてきている今日、制服の選択自由や私服登校などを取り入れた学校
- ・ 偏差値をなくすべき。頭が悪くても、この分野ならばできるっていうのがあると思うから
- ・ 働きながらや、好きなことをしながら通えるこの学校みたいなところ
- ・ 楽しみながらも常識を身につけられるような高校
- ・ ただただけ机に向かって先生の話聞くみたいな授業じゃなくて、もっと自分で自由に考えて、発表のできる雰囲気がある学校
- ・ 社会に出ても恥ずかしくないように自分で判断し行動できるようにしたり、言葉遣いや常識、コミュニケーション力を伸ばせる高校
- ・ 今あるものを学ぶだけでなく世にないものを見つけ出せる高校
- ・ 社会にでて必要な、身だしなみなどを高校のうちから学ぶべきだと思う
- ・ 生徒一人一人に社会でのあり方や、自己表現を高める学校があったらいいなと思いますね。今の学校はほとんどが個性を潰し(もちろんすべてとは言いません)、みんな一緒にするようにしているので、もう少し個性を出しても注意のされない学校が一番欲しいかなと思います(髪染めやネイルは、私もちょっといけないかなと思っていますが、髪形は制限する必要はないと思います)
- ・ だれでも生き生きできる高校
- ・ 情報社会が進んでいるので、情報技術に関して学べる高校があるとよい
- ・ 生徒を信頼した校則が増えていくといいなと思う。例えば、スマホは授業中以外(授業でも教員の指示でたまに使うことがある)OK だとか、連絡は掲示板を使用して生徒それぞれが見るだとか、私服 OK だとか…。生徒自身が信頼の上に成り立つのだということを実感できる良い校風だと思う。また、不登校の生徒にも配慮した高校が増えていくといいなとも思う
- ・ タブレット端末などを利用し、より深く調べ物の出来る高校
- ・ 型にはめるといよりは奇抜な発想を尊重するような高校
- ・ 自身の理解力や実力にあった授業を自由に選択して受けれるオンデマンド式の形態をとる学校
- ・ 今ある高校で十分だと私は思います。その中から自分に合った高校を選ぶということこそ、大事なのではないのでしょうか
- ・ 海外の人やいろんな事情で学校に通いにくい人などが安心して通えるような学校
- ・ 勉強だけでなく社会に出てから役に立つ実用的なことを学べる授業がある学校
- ・ 色々な選択のできる専門学校を増やしてもいいと思う、そうしたら個人の好きな学科に行けるから



- ・ 地域に貢献することのできる高校
- ・ グループワークの時間をたくさん設け、議論しあえるような場がある高校があったらいいと思う
- ・ これからの時代、高齢化社会になっていくと思うので、その介護を手伝うような機械を作る技術を学べる高校があったらいいと思います
- ・ A high school that's free from bullying, discrimination and judgement.
- ・ ITを活用して自分たちで進んで学習する学校
- ・ 既にある気もするが、家に居てオンラインで授業を受ける
- ・ 挑戦したいこと、やりたい事を実現するために後押ししてくれる学校。自由のない学校は、楽しくない。毎日監視されているみたいだ、生徒は軍隊じゃない
- ・ タブレットなどを教科書の代わりに使い、自分で調べたりなどをし、たまにゲーム感覚で授業を学べるような高校
- ・ 生徒主体で進めていく授業がある高校。自分たちで調べたいテーマを決め、それについて討論したり出来たら知識を深めることが出来ると思う
- ・ 様々な地域の生徒が集まり、その違いを認め合い受け入れながら交流、互いの知識を高めていける高校
- ・ 他人への礼儀や、少しの気配りを沢山できるような人になれる高校
- ・ 先生が説明するばかりでなく、自分たちで調べて理解をする。それで分からなければ先生が教えるような高校
- ・ 無意味な勉強をやめて、これからの社会に適合・役立つ力を身につける勉強と一人一人の個性や能力が発揮できる環境を整えるべき
- ・ 他学年との交流の機会があるような学校
- ・ 一人一人タブレットやパソコンを配り家でも授業ができる学校
- ・ 誰にでも教え合えるような高校
- ・ 海外との交流が深い学校
- ・ 校則があつたり高校といった場所ではあるけど堅苦しくなく、1人1人が生き生き出来るような自由な意味高校じゃない高校みたいな場所になったらいいと思う
- ・ PCを中心に学ぶ学校、英語を中心に学ぶ学校
- ・ 家の中でオンラインでの授業やディスカッションができ、学校に行かずに勉強するという選択肢を取れる学校
- ・ 行きたいときに行ける高校（単位が取れるまで）
- ・ 現在人手が足りない分野の職業を学べる高校
- ・ いじめや差別について積極的に考えてくれる高校
- ・ 生徒ひとりひとりにタブレット・pcなどがあれば円滑に授業が進むと思う
- ・ みんなが楽しく過ごせる高校
- ・ 誰もが進んで行動やプレゼンができるようになる能力を身につけられる高校
- ・ 自分の意見を発表し議論する学校
- ・ ネット環境を良くした高校。地域の人とたくさん関わられる高校
- ・ すべてにおいて、いい行動やあいさつができる学校
- ・ オンラインをメインにした学校